

平成28年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| I | 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について | 1 |
| 1 | 経 緯 | 1 |
| 2 | 目 的 | 1 |
| 3 | 点検・評価の対象及び方法等 | 1 |
| 4 | 学識経験者による知見の活用 | 2 |
| 5 | 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要 | 3 |
| 6 | 点検・評価シートの作成 | 4 |
| 7 | 事務局、教育機関の機構 | 5 |
| II | 教育委員会の活動状況 | 6 |
| 1 | 教育委員会議の開催状況 | 6 |
| 2 | 名簿 | 6 |
| 3 | 平成28年度教育委員会議の開催状況 | 6 |
| 4 | 教育委員会の学校訪問 | 7 |
| 5 | 教育委員会議以外の活動状況 | 8 |
| III | 点検・評価の結果 | 11 |
| | 基本方針1「健やかな心を育む学校教育の充実」 | 11 |
| | 基本事業【 学校教育の充実 】 | 11 |
| | ・ 確かな学力向上の推進 | 11 |
| | ・ 心の教育の推進 | 13 |
| | ・ 体育・健康教育の充実 | 15 |
| | ・ 人権教育の推進 | 17 |
| | ・ 特別支援教育の充実 | 17 |
| | ・ 教職員の適正な配置と人事管理 | 18 |
| | ・ 開かれた学校づくり | 19 |
| | 基本事業【 学校施設の整備・充実 】 | 22 |
| | ・ 学習環境の整備・充実 | 22 |
| | 基本方針2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」 | 24 |
| | 基本事業【 生涯学習の充実 】 | 24 |
| | ・ 生涯学習のまちづくり事業の推進 | 24 |
| | ・ 公民館活動の推進 | 24 |
| | ・ 図書館活動の推進 | 25 |
| | ・ 広報・啓発活動 | 25 |
| | ・ 青少年健全育成の推進 | 25 |
| | ・ 家庭教育の推進 | 26 |
| | ・ 学校、家庭、地域との連携による教育力の充実 | 27 |
| | ・ 子ども読書活動の推進 | 27 |

| | |
|--|----|
| 基本事業【生涯学習施設の整備】 | 29 |
| ・社会教育施設の整備・充実 | 29 |
| 基本方針3「スポーツ活動の振興」 | 30 |
| 基本事業【スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実】 | 30 |
| ・社会体育施設の整備・充実 | 30 |
| 基本事業【スポーツ活動の振興】 | 32 |
| ・社会体育の振興 | 32 |
| 基本方針4「文化の薫る地域の振興」 | 34 |
| 基本事業【文化施設の整備・充実】 | 34 |
| ・かもがた町家公園の円滑な管理・運営 | 34 |
| ・岡山天文博物館の円滑な管理・運営 | 35 |
| ・阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営 | 37 |
| 基本事業【歴史・文化的資源の保全・活用】 | 40 |
| ・文化財の保護・保存・公開・普及活動 | 40 |
| 基本事業【文化・芸術活動の振興】 | 44 |
| ・芸術文化活動の普及と振興 | 44 |
| 基本方針5「グローバルな感性を育む国際交流・理解」 | 46 |
| 基本事業【国際交流の推進】 | 46 |
| ・姉妹都市（豪州・テイツワーカー市）、友好提携都市（中国・高安市）との交流・・・ | 46 |
| ・交流を通しての国際理解 | 46 |
| 基本事業【国際的に活躍できる青少年の育成】 | 48 |
| ・コミュニケーション能力の向上 | 48 |
| 基本方針6「人権の尊重」 | 50 |
| 基本事業【人権啓発、人権教育の推進】 | 50 |
| ・人権教育の推進 | 50 |
| ・人権啓発・教育の指導者リーダーの養成 | 50 |
| 基本方針7「安心できる子育て支援の推進」 | 52 |
| 基本事業【特別保育事業の充実】 | 52 |
| ・子育て環境の整備・充実 | 52 |
| 基本事業【保育サービスの充実】 | 54 |
| ・子育て環境の設備・充実 | 54 |
| 基本事業【預かり保育、放課後児童健全育成事業の充実】 | 56 |
| ・預かり保育の充実 | 56 |
| ・放課後児童クラブの充実 | 56 |
| 基本事業【遊び・交流の場の整備・充実】 | 58 |
| ・遊び・交流の場の整備・充実 | 58 |
| IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（平成28年度事業分） | 59 |

資料

| | |
|--|----|
| 【資料1】平成28年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在） | 65 |
| 【資料2】平成28年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校 及び教職員の研修一覧 | 66 |
| 【資料3】平成28年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧 | 67 |
| 【資料4】平成28年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績 | 68 |
| 【資料5】平成28年度 子ども・子育て支援事業の実績 | 78 |

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

(2) 方法

平成28年度における各事業の達成状況の把握を参考として、その取組状況について点検・評価を実施します。

(3) 報告

- ・時期 浅口市議会9月定例会
- ・報告の場 総務文教常任委員会

(4) 公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

◇ 浅口市教育委員会評価委員（平成29年度）

| 番号 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|----|-------|-------------------------|----|
| 1 | 金光 英子 | 金光図書館長 | |
| 2 | 藤澤 雅 | 浅口市文化財保護委員 | |
| 3 | 坂本 正恵 | 笠岡市教育相談室 教育支援センター相談員 | |

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

| 評価項目 | 評価内容 |
|---------------|--|
| ア 教育委員会の会議の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会の開催回数 ・教育委員会臨時会の開催回数 |
| イ 教育委員の研修等 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修等の参加状況 |

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

| 評価項目 | 評価内容 |
|-------------------------------------|--|
| ア 教育行政の運営に関する基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の策定 |
| イ 規則等の改廃 | <ul style="list-style-type: none"> ・条例、規則等の制定・改正等 |
| ウ 議会の議決を経るべき議案 | <ul style="list-style-type: none"> ・条例、予算等の議案 |
| エ 教育関係予算 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育行政に関する当初及び補正予算 |
| オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止 | <ul style="list-style-type: none"> ・設置又は廃止の状況 |
| カ 職員の任免に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動等の状況 |
| キ 教科用図書の採択の決定に関する事 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択状況 |
| ク その他 | |

6 点検・評価シートを作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について点検・評価します。

(2) 事業概要

点検・評価項目の基本事業について、その概要を記載します。

(3) 取組状況

点検・評価項目の基本事業について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(4) 成果

実施した結果による成果について、具体的に記載します。

(5) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(6) 自己評価

達成度や効果等について、評価を記載します。

(7) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(8) 評価指標

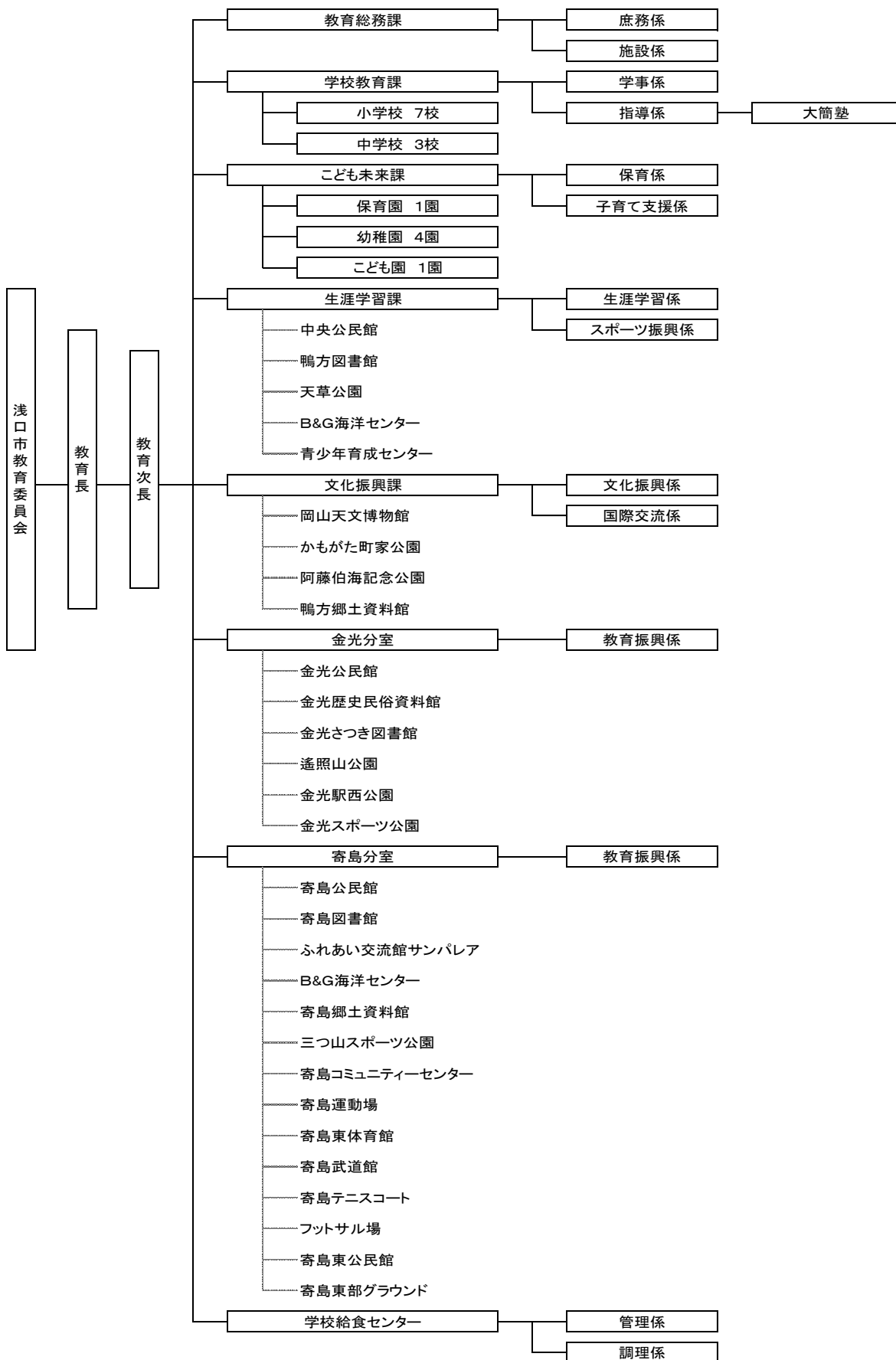
A：予定通り達成された。

B：概ね達成された。

C：やや達成できなかった。

D：達成できなかった。

7 事務局、教育機関の機構



II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、教育長及び4名の教育委員が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 名簿（平成28年5月12日現在）

| 職名 | 氏名 | 就任年月日 | 任期満了年月日 |
|------------------|--------|------------|------------|
| 教育長 | 中野 留美 | 平成28年5月12日 | 平成31年5月11日 |
| 委員 (教育長職務代理者) | 山田 篤 | 平成25年5月12日 | 平成29年5月11日 |
| 委員 | 中務 美保子 | 平成26年5月12日 | 平成30年5月11日 |
| 委員 | 原田 玲子 | 平成26年5月12日 | 平成30年5月11日 |
| 委員 | 藤澤 弘幸 | 平成28年3月9日 | 平成31年5月11日 |

3 平成28年度教育委員会議の開催状況

| | 期日 | 場所 | 附議案件等 |
|--------|-----------|-------|--|
| 4月定例会 | H28.4.20 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 浅口市児童福祉法第56条の規定に基づく保育の利用に伴う費用の徴収等に関する規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市文化財の指定について |
| 5月定例会 | H28.5.12 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会教育長職務代理者の指名について ・ 準要保護の認定について |
| 6月定例会 | H28.6.24 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 夏期休業中の学校閉校日について |
| 7月定例会 | H28.7.19 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅口市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について |
| 8月定例会 | H28.8.18 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について |
| 9月定例会 | H28.9.27 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 浅口市立認定こども園規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市子ども・子育て会議委員の委嘱について |
| 10月定例会 | H28.10.27 | 中央公民館 | (諸般の報告のみ) |

| | | | |
|---------|-------------|-------|--|
| 11 月定例会 | H28. 11. 16 | 中央公民館 | ・ 準要保護の認定について |
| 12 月定例会 | H28. 12. 16 | 中央公民館 | ・ 準要保護の認定について |
| 1 月定例会 | H29. 1. 19 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 浅口市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市立学校管理規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市就学援助規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市就学援助事務取扱要領の一部を改正する訓令について |
| 2 月定例会 | H29. 2. 17 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅口市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について ・ 浅口市児童福祉法第 56 条の規定に基づく保育の利用に伴う費用の徴収等に関する規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市保育所等の利用に関する規則の一部を改正する規則について ・ 浅口市立認定こども園一時預かり事業実施要綱の一部を改正する告示について ・ 浅口市立保育所等延長保育事業実施要綱の一部を改正する告示について ・ 浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について ・ 浅口市指定文化財の諮問について |
| 3 月臨時会 | H29. 3. 10 | 中央公民館 | ・ 県費負担教職員人事異動の内申について |
| 3 月定例会 | H29. 3. 16 | 中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護の認定について ・ 教育委員会事務局職員の人事異動について ・ 浅口市立保育所運営規程の制定について ・ 浅口市立幼稚園運営規程の制定について ・ 浅口市立認定こども園運営規程の制定について ・ 浅口市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則について ・ 浅口市幼稚園預かり保育事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・ 平成 29 年度教育行政の基本方針について |

4 教育委員会の学校訪問

| 時期 | 訪問先 | 概要 |
|-------------|-----------------------------|---|
| H28. 6. 24 | 鴨方東小学校、鴨方西小学校、鴨方東幼稚園、鴨方西幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観、校園長との懇談 ・ 学校給食の試食 |
| H28. 11. 16 | 鴨方中学校、六条院小学校、六条院幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観、校園長との懇談 ・ 学校給食の試食 |

5 教育委員会議以外の活動状況

平成28年度の主な活動は次のとおりである。

| 時 期 | 各種会議・関係行事 | 概 要 |
|-------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| H28. 4 | ○市立学校・園入学式 | ・市立保育園1園、幼稚園4園、こども園1園、小学校7校、中学校3校 |
| H28. 4. 22 | ○岡山県都市教育委員会 教育長協議会 | ・第1回定例会 高梁市役所 |
| H28. 4. 25 | ○教育問題懇談会 | ・岡山県総合教育センター |
| H28. 5. 19 ～20 | ○全国都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会徳島大会 | ・第68回総会、研究大会 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館） |
| H28. 6. 24 | ○総合教育会議 | ・第1回 中央公民館 |
| H28. 7. 12 | ○岡山県市町村教育委員会 連絡協議会総会 | ・役員会、総会 くらしき健康福祉プラザ |
| H28. 7. 15 | ○平成28年度地域とともにある学校 づくり推進フォーラム | ・鳥取県立生涯学習センター |
| H28. 7. 27 | ○岡山教育事務所管内 教育長連絡会議 | ・ピュアリティまきび |
| H28. 7. 22 | ○岡山県都市教育委員会 教育長協議会 | ・第1回臨時会 メルパルク岡山 |
| H28. 10. 12 | ○岡山県教育長と市町村教育長 との意見交換会 | ・ピュアリティまきび |
| H28. 10. 13 | ○岡山県都市教育委員会 教育長協議会 | ・第2回定例会 新見市文化交流館（まなび広場に いみ） |
| H28. 10. 20 | ○中国地区都市教育長会定期総会 | ・ホテルセントパレス倉吉 |
| H28. 10. 26 | ○岡山教育事務所管内 教育長連絡会議 | ・ピュアリティまきび |
| H28. 10. 27 | ○総合教育会議 | ・第2回 中央公民館 |
| H28. 11. 25 | ○金光中学校研究発表会 | ・市指定 |

| | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| H28. 11. 9 | ○岡山県市町村教育委員会 連絡協議会研修会 | ・ライフパーク倉敷プラザ |
| H28. 12. 16 | ○浅口市教育委員会視察 | ・岡山天文博物館 |
| H29. 1. 8 | ○浅口市成人式 | ・ふれあい交流館「サンパレア」 |
| H29. 1. 20 | ○岡山県都市教育委員会 教育長協議会 | ・第3回定例会 備前市日生総合支所防災センター |
| H29. 1. 21 | ○浅口市きらきら賞表彰式 | ・中央公民館 |
| H29. 2. 25 ～26 | ○平成28年度教育長セミナー | ・教員研修センター |
| H29. 3 | ○市立学校・園卒業式 | ・市立保育園1園、幼稚園4園、こども園1園、小学校7校、中学校3校 |

| | |
|---------------|--|
| <p>成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例や臨時の教育委員会会議において、質疑応答や協議の時間を十分確保することで、教育委員会事務局における課題や取組等についても理解を深めることができた。また、会議後に自主研修の時間を設定するなどして、学校や地域、近隣市町の動向等についても見識を深めることができた。 ・ 総合教育会議において、幼児教育や学校指導体制の在り方について、市長と積極的に意見交換を行い、教育行政の方向性を共有することができた。 ・ 鳥取県で行われた「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」に参加し、コミュニティスクール（学校運営協議会）の取組事例について学び、今後の教育施策の参考とした。 ・ 京都大学3.8m反射望遠鏡や岡山天文博物館へ設置された大型スクリーン等を視察し、市内の教育関係事業の情報収集につとめるとともに、理解を深めた。 ・ 厳粛な雰囲気の中で成人式典を執り行うことができ、青少年健全育成のための活動が継続的に行われている成果を実感することができた。 |
| <p>課題・方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市としての方向性を定めていけるよう工夫したい。 ・ 調和の取れた教育行政を推進するために、教育委員の研修や教育関係行事への参加は重要である。年間を通して研修や行事へ参加し、教育行政に対する知識を深め、課題の把握や教育行政に対する意見・要望等の把握に努めていきたい。 ・ 研究発表会や学校行事はもちろん、計画的な学校・園訪問を継続して、授業を参観したり、学校・園長と懇談したりして、教育現場の実態把握に努め、市内の学校・園の実情を理解するとともに、具体的な指導・支援を講じていきたい。 ・ 総合教育会議を通じて、市長とより緊密に連携を図りながら、教育行政を推進していきたい。 |
| <p>自己評価</p> | <p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問や学校行事、研究指定校の研究発表会をはじめ、生涯学習事業、文化振興事業、その他教育関係の行事にも積極的に参加して、市内教育関係事業の推進状況の実情把握に努めた。今後の教育委員会会議等における審議に活かしていきたい。 ・ 教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、事務局へ報告を求めるなど、積極的な姿勢で諸課題に対応することができた。引き続き事務局や教育現場に近い距離で、指導・支援を継続していきたい。 ・ 総合教育会議では、市長と意見交換を行う中で教育課題に対する共通理解を図ることができた。 |

Ⅲ 点検・評価の結果

基本方針1 健やかな心を育む学校教育の充実

<基本事業> 学校教育の充実

【担当課】 学校教育課

| | | 事業の内容 | 事業概要 |
|------------|--------------|-------|---|
| 確かな学力向上の推進 | 学習指導方法の工夫・改善 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅口市学力向上NO.1プロジェクト推進委員会 ・ 魅力ある授業づくり徹底事業(2年次) ・ 要請訪問の充実 ・ 浅口市教育委員会研究指定校における研究推進 ・ 指導教諭、授業改革推進リーダー、推進員による授業研究会の公開 |
| | | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある授業づくり徹底事業を通じて、教員の授業力の向上や子どもの学力向上へつなげることができた。 ・ 研究会を通して、アクティブラーニングについての見識を深め、授業改善を図ることができた。 ・ 学力向上NO.1プロジェクトは、平成28年度から3年間で第Ⅱ期として校種間連携を中心に進めている。平成28年度は、各中学校区で連携全体計画をまとめ、取組の重点を設定した。就学前・小学校・中学校が足並みをそろえて学力向上の土台となるものができた。 ・ 県から配置された授業改革推進リーダー・推進員が、中学校を中心に授業づくりや学習環境の整備について助言やアドバイスを行うことにより、授業改善が進んでいる。 |
| | 家庭・地域との連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭・地域との連携による基本的生活習慣の育成 |
| | | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健委員会などの取組で、「早寝、早起き、朝ご飯」「ノーメディアデー」「中学校の定期考査に合わせての小学校・中学校学習習慣の設定」などを進めている。 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校校長会、教頭会との連携 ・担当者別研修会（教務、養護教諭、生徒指導、不登校担当者等）の充実 ・3中学校区の校種間連携事業への支援 ・教職員研修の充実 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区単位で目指す子ども像を設定し、幼稚園・こども園・小学校・中学校でつながりをもった支援を行うことができた。 ・スタートカリキュラムを作成することで、小1プロブレムの解消を図っている。 ・夏季休業中に、「キャリア教育」についての教職員全員研修を行った。子どもたちの「生きる力」につながるキャリア教育について、理解を深める研修となった。 |
| 学習時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学習サポート事業 ・「夏GAKUサプリ」の充実 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度も市内全小学校・中学校において、放課後学習支援員を配置し、放課後学習等を実施した。各校で補充学習の方法を工夫し、児童・生徒の基礎基本の定着を図る放課後学習が実施できた。 |
| 時代の進展に対応した教育(国際理解教育・ICT教育・環境教育等)の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語教師（ALT）の配置と活用 ・小学校・中学校におけるICT機器の効果的な活用の推進 ・小学校・中学校における環境教育の推進への支援 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月からALTを1名増やして6人体制とし、幼稚園・こども園・小学校・中学校の英語教育の充実を図っている。平成28年度にALTを中心に作成したフォニックス教材を使って、幼児期からの音声指導に力を入れている。 ・タブレットの整備に続き、市内3小学校へ電子黒板を導入し、視覚的支援の充実、協同的な学びの保証を目指している。今後、市内全小学校・中学校へ電子黒板を導入する予定である。 ・社会、理科、総合的な学習の時間を中心に、発達段階に応じて内容を吟味し、環境教育の推進を図っている。 |

| 心の教育の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
|--|---|---|
| | 道徳教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・中学校における道徳教育の推進 ・ 初任者研修、10年経験者研修等を核とした公開授業と校内研修の充実 ・ 外部講師やボランティア等地域人材の活用 ・ 教科化に向けての準備 |
| | | 取組状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参観日や学校公開、オープンスクール等において、道徳の時間の授業公開を行っている。また、平成28年度から寄島中学校区では、道徳を共通のテーマとして研究を進めている。 ・ 寄島小学校・寄島中学校では、平成28年度から校内研究に道徳を設定し、教科化に向けての道徳の授業改善や評価等について研究を進めている。今後、寄島小学校・寄島中学校の取組の成果を、市内各校へ周知していきたい。 | |
| 学社連携による体験学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏のボランティア活動へ中学生の参加推進 ・ 中学生海外派遣事業への協力 ・ 学校支援地域本部事業 ・ 「夏GAKUサプリ」の充実 ・ 「キャリア教育」の推進 | |
| | 取組状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 3中学校の2年生の職場体験学習（金光中学校11月、鴨方中学校10月、寄島中学校6月）の実施に関して、支援を行った。 ・ 中学生海外派遣事業は、毎年、異文化を体験する貴重な場となっている。平成28年度は、モデブリー校の受け入れを鴨方中学校で行い、多くの交流が生まれた。 ・ 地域人材を外部講師やボランティアとして招聘し、諸活動を支援してもらった。学校便りで、保護者や地域への情報発信を積極的に行った学校もあった。 ・ 中学生の夏のボランティア活動には、市内の多くの中学生が参加し、貴重な体験の場となっている。 | | |

| | |
|-------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置 ・スクールサポーターの配置 ・スクールポリスの配置 ・SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置（派遣） ・定期教育相談 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーは、県の配置事業を受け、3中学校・3小学校に配置されている。児童・生徒・保護者等の悩みの相談を通して、心のケアを行った。 ・スクールサポーターについては、学校に登校できても、心の問題で教室に入れない児童・生徒に対して、効果的に学習サポートを行った。 ・スクールポリスについては、市内全ての学校を巡回し、児童・生徒の問題行動に対応し、外部機関との連携で学校への支援を行った。 ・SSW（スクールソーシャルワーカー）については、要請のあった学校へ配置し、家庭と学校をつなぐ役割を果たした。不登校等の問題で開かれるケース会議では、SSWが把握している情報が有効に働き、児童・生徒の支援につながった。 ・定期教育相談については、不登校、社会・学校不適應、一般育児問題など、子どもの健全な育成の場として、市内全体の取組になっている。 |
| 教育相談の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・大簡塾への指導員の配置と指導内容の充実 ・施設環境と運営体制の整備 ・訪問カウンセラーの配置 ・思春期応援チームの活用 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大簡塾は、平日、月～金の9時から15時まで開館し、常時2名の指導員が対応できるように人員を配置し、学習支援等を行い、学校復帰に向けた取組を行っている。 ・阿藤伯海記念公園の旧居内を利用しており、落ち着いた環境の中で活動できるようにしている。 ・年間20回、訪問カウンセラーを大簡塾に配置しており、大簡塾に通う児童・生徒や保護者の心のケアや、相談に対応している。 |
| 適応指導教室事業の推進 | |

| | | |
|------------|-------------------------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・思春期応援チームにより、市の社会福祉部局等の関係機関と連携をとりながら、義務教育修了後も外部とのつながりを作り、引きこもりにならないように努力している。 |
| | 生徒指導の充実(不登校対策・いじめ問題対策等) | <ul style="list-style-type: none"> ・登校支援員による登校支援 ・講師による研修会 ・いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・スマホの使用に係るPTAとの連携会議の開催 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の事業で登校支援員を小学校5校に配置したことにより、不登校傾向の児童・生徒を家に迎えに行くなどの支援を行うことができた。 ・年間2回いじめ問題対策連絡協議会を実施し、市内のいじめ問題の実態を分析し、対応のあり方について検討した。 |
| | 就学前の教育支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・こども園教育への指導・支援の充実 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども未来課、社会福祉課と連携を図り、就学についての助言等を実施している。 ・接続カリキュラム作成委員会を編制し、年間3回の作成委員会を開催して、「園小接続カリキュラム あさくち」を作成した。平成28年度内に市内保育園・幼稚園・こども園・小学校へリーフレットを配付して周知し、カリキュラムを始めている。 |
| 体育・健康教育の充実 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 体力づくり・スポーツ活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者派遣事業 ・小学校体育連盟・中学校体育連盟関係事業の支援 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果の活用 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動支援員事業を活用することで、教員の勤務負担の軽減につながっている。 ・調査の結果を分析し、分析結果をもとに課題を明確にして、支援に生かしている。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施と結果をもとに、各校で分析を行い、改善策を考えた。 |

| | | |
|--|---------------------------|---|
| | 心身の健康の保持 増進 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び園児・児童・生徒の健康診断実施 ・禁煙教育、薬物乱用防止教育等の推進 ・小学校・中学校における「あいさつ運動」の推進 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉島警察署との連携による「薬物乱用防止教室」を多くの小学校・中学校で実施し、早い段階から正しい知識を身につけられるようにしている。 ・鴨方中学校区では、小・中連携の取組として、中学生の母校でのあいさつ運動を行った。その他の小学校・中学校でも定期的にあいさつ運動を行っており、さわやかな声が響いている。 |
| | 望ましい食生活習 慣の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・「食物アレルギー対応の手引き」の見直し ・学校給食における食物アレルギー対策委員会の実施 ・栄養教諭等による食育指導の充実 ・学校給食基本献立の作成 ・食育全体計画の作成と実践 ・給食における地産地消の推進 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に「食物アレルギー対応の手引き」の見直しを行い、改訂した。 ・学校給食における食物アレルギーの対応の変更もあり、平成28年度は、食物アレルギー対策委員会を2回開催した。 ・栄養教諭等による食育指導は、給食の時間を利用して、小学校を中心に行った。 ・年間献立計画を策定し、学年別指導内容を盛り込んだ。 ・給食における地産地消について、米は浅口産を使用した。ジャガイモやあたご梨も使用した。 |
| | 子どもたちの安 全・安心な生活の推 進 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・こども園・小学校・中学校における月例安全点検の実施 ・小学校区における地域安全マップの点検と活用 ・登下校の児童・生徒の安全指導と地域の見守り活動との連携 ・玉島警察署、スクールポリス、補導協議会等関係機関との連携 ・浅口市青少年育成センターとの連携 |

| | | |
|------------|--|---|
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・玉島警察署、補導協議会、見守り隊等多くの関係機関との連携により、児童・生徒の安全な暮らしを推進することが出来ている。 ・学校も落ち着いている。しかしながら、外部と連携すべき事案も時々起こるため、スクールポリスや青少年育成センターなどとの連携がとても有効であった。 |
| 人権教育の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 人権教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進計画に基づく事業推進への指導・支援 ・教職員研修の充実 |
| | | 取組状況 |
| | 保護者・地域社会との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の管理職や人権教育担当者を、研修会に派遣した。 ・各学校において、人権教育を教職員の研修に位置づけて実施している。 |
| 取組状況 | | |
| 特別支援教育の充実 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 特別支援教育の推進と体制整備に関する研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA人権教育の推進と指導主事の派遣 |
| | | 取組状況 |
| | 特別支援教育の推進と体制整備に関する研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置づけて推進している。 ・生涯学習課との連携により、各幼稚園・こども園・小学校・中学校PTA人権教育研修会を年1回開催。幼稚園・こども園PTA人権教育研修会には、指導主事を派遣して協議に参加した。 |
| 取組状況 | | |
| 講演会・研修会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・こども園・小学校・中学校における特別支援教育推進体制整備への支援 ・教職員研修を充実させるための指導・支援 ・特別支援教育支援員による支援の充実 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の積極的な活用を推進し、視覚的な支援を充実することでユニバーサルデザインの授業を目指している。 ・特別支援学校との連携を密にし、支援学校主催の研修会への参加を促している。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象の教育講演会及び研修講座の実施 ・発達障害児支援のための教職員（保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校教員、支援員）研修会 | |

| | | |
|----------------|--|--|
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・市主催で、合理的配慮について講師を招き、教職員研修を実施した。 |
| | 就学指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・就学指導と特別支援教育支援委員会の充実 ・就学前(6歳児)の健康診断の実施 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・就学指導連絡協議会を実施し、就学前の子どもの実態について情報を共有している。 ・保護者を対象として、就学指導の流れについて説明する機会を設けている。 |
| | 支援を要する園児・児童・生徒のケース会議の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもすこやか会議等の参加 ・幼稚園・こども園・小学校・中学校におけるケース会議への支援 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議に特別支援学校から専門指導員を招いて、専門的な立場から助言をいただき、子どもへの支援に生かすことができた。 |
| | 生活支援員の配置と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級における支援の必要な子への対応 |
| | | 取組状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・担任との打ち合わせを丁寧に行い、子どもひとりひとりに応じた支援を行った。 | |
| 教職員の適正な配置と人事管理 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 県費負担教職員の適正な配置と加配教員等の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修等各種職階別研修の充実 ・加配教員を活用した学校運営や教育内容の充実のための指導・支援 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・各校へ加配の目的を明確に伝え、目的に合った教育支援が実施できるよう指導を行った。 |
| | 市費職員の任用と効果的な配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携を図る市費非常勤講師の効果的な配置 |
| 取組状況 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員や学級アシスタント、校務員などを適材適所に配置し、学校のニーズに合った対応が出来るように努めている。 | |
| 教職員のサービスの厳正 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス推進員の活用 ・校長会及び管理職研修 | |

| | | |
|-----------|----------------------------------|--|
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・市内各校の教頭をコンプライアンス推進員に任命し、校内のコンプライアンスを中心となって進めている。計画的な研修の実施や教職員への声かけ、校内環境の点検・整備等を行い、風通しのよい職場づくりに努めている。 |
| | 人事評価システムの適正な運用と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上及び学校組織の活性化 |
| | | 取組状況 |
| | 人事評価システムの適正な運用と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価システムの周知に時間はかかったが、評価システムの実施要綱に沿って進めることができた。 ・学校組織の活性化につながったかどうかは、今後しっかりと検証していく必要がある。 |
| | 教職員が子どもと向き合う時間を確保するための学校マネジメント支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級アシスタント等の活用による教職員の勤務負担軽減に向けた取組 |
| | | 取組状況 |
| | 教職員が子どもと向き合う時間を確保するための学校マネジメント支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容や優先順位をホワイトボード等に記入するようにし、学級アシスタントが効率的に業務を達成できるような工夫を行い、その結果、教職員の勤務負担軽減につながっている。 |
| 開かれた学校づくり | 事業の内容 | 事業概要 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・「浅口教育週間（10月末）」における学校公開の推進 ・中学校における小学生対象のオープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催 ・学校評価の取組と結果の活用 ・「地域とともにある学校づくり」の推進 |
| | 開かれた学校づくり | 取組状況 |
| | 開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・浅口教育週間では、積極的に学校公開を行った。合わせて道徳の授業公開も行い、学校発信の機会とした。 ・中学校における小学生対象のオープンスクールは、全ての中学校で実施できた。不登校で問題となる中1ギャップを埋める効果が期待される。 ・学校評議員会が、市内全ての学校で行われており、地域への学校発信の場となっている。 ・各学校は、学校評価の取組を行うことで、自校での活動をPDCAサイクルによる視点を通して振り返ることができた。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の規則を策定した。今後モデル校で学校運営協議会の設置に向けた研究を行い、その後市内の全小学校・中学校への設置を目指す。 |
|--|---|

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上NO.1プロジェクト事業」は第Ⅱ期の取組として、校種間連携に重点を置き、中学校区ごとの取組を深めることができた。また、県配置の授業改革推進リーダー・推進員が、中学校を中心に授業づくりや学習環境の整備について助言やアドバイスを行うことにより、授業改善が進むなど学力向上が図られている。 ・校内研修をはじめ、多くの機会をとらえて学校（園）へ出向き、指導・支援を積み重ねながら、現場の様子を確かめるよう心がけた。施設整備や、人員配置に役立てることができたと感じている。学校に課題ができた場合には、岡山県教育委員会や岡山教育事務所などに緊急対応を依頼するなどして、教育委員会全体でバックアップすることができた。 ・学校に求められることは年々多くなり、教員の多忙感も様々な範囲に及んでいる。そこで、市としても「学級アシスタント」を各校に配置し、プリントの印刷、教材の準備、掲示物の作成、張り替えなどの業務をすることで、教員の負担軽減を目指した。学校には好評で、各校の情報交換をもとに、さらに有効な活用ができるように進めている。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上NO.1プロジェクト事業」による「ともに学ぶ」を中心にした取組や、小学校・中学校で足並みを揃えて、靴揃え・無言清掃・あいさつなど生活の基盤となる部分の取組も重点とするなど、学校間の交流も始まってきている。このように方向性を揃えながら、新たな取組を進めていくことが必要である。 ・子どもたちと向かい合う時間の確保に向けて、充実とともに効率化を図る働き方改革の努力が必要である。そのために、様々な立場からの人的配置を行い、対応を行っている。今後とも、岡山県教育委員会や市長部局との連携を強化して教職員の配置を充実させるとともに、教職員の資質向上のための計画的な訪問や研修による指導・支援など、引き続き努力していきたい。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上NO.1プロジェクト事業」の第Ⅱ期の取組により、実務を担 |

当している研究推進委員を中心として、中学校区ごとの取組を深めることができた。このことにより、共通理解が図られるとともに早い動きがとれるようになり、成果も上がっている。

- ・学校に係る諸機関の深い連携により、よい成果を示すことができている。

<基本事業> 学校施設の整備・充実

【担当課】 教育総務課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|------------|--------------|---|
| 学習環境の整備・充実 | 施設・設備等の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設の改修工事（金光吉備小学校体育館床、寄島小学校正門、鴨方中学校テニスコート等） ・ 中学校へエアコンの設置（鴨方中学校、寄島中学校） ・ 小学校・中学校へICT機器の設置 ・ 金光小学校のトイレ改修設計 ・ 六条院幼稚園の改修工事 ・ 鴨方東幼稚園の職員トイレ改修工事 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金光吉備小学校体育館床改修工事 床部分改修工事 35㎡ 平成28年8月竣工 ・ 寄島小学校正門修繕工事 施工延長 21m、大型門扉設置 N=1組 平成28年9月竣工 ・ 鴨方中学校テニスコート人工芝張替工事 砂入り人工芝張替工事 571㎡ 平成28年7月竣工 ・ 金光小学校渡り廊下修繕工事 渡り廊下修繕 一式 平成28年8月竣工 ・ 鴨方西小学校プール棟軒裏及び天井補修工事 プール棟補修工事 一式 平成28年5月竣工 ・ 鴨方中学校多目的室、寄島中学校木工室へ各校2台エアコンを設置 ・ 金光小学校、鴨方西小学校、寄島小学校へ各校1台電子黒板を整備 ・ 金光中学校（10台）、鴨方中学校（11台）へタブレット型PCを整備 ・ 金光小学校トイレ改修工事実施設計業務委託 改修箇所 5ヶ所 平成28年11月完了 ・ 六条院幼稚園園舎改修工事 保育ロッカー等改修 6部屋 平成28年8月竣工 ・ 鴨方東幼稚園トイレ改修工事 （大人用）トイレ改修工事 一式 平成28年8月竣工 |

| | |
|--------|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校が必要とする補修や改修について、計画的に取り組むことができ、子どもたちの安全を第一に考えながら適切な環境整備に努めた。 ・厳しい予算状況の中、子どもたちの安全・安心を最優先にとらえ、緊急性を要する懸案から施設・整備の改修を図ることができた。 ・電子黒板の導入により、授業で活用できる幅が広がり、子どもたちにも興味を持って授業が受けられるよう整備することができた。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は建設後40年以上経過しているものもあり、年々老朽化が進んでいる。さまざまな視点から検討を重ね、現状や課題をふまえた上で大規模な改修や長寿命化等の方向性を見出す努力が必要である。また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。 ・教育環境の整備には予算の裏づけが必要となるため、各学校・園の状況を正確に把握し、優先度を付けて対応しなければならない。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、優先度の高い施設や設備の充実化を図ることができたと考える。しかし、施設の老朽化は年々進行している。中・長期的な大規模改修計画の策定や事故等の未然防止のために定期的な点検の徹底を図りながら、子どもたちの安全確保に一層の意識をもって取り組んでいくことが大切である。 |

基本方針2 豊かな人生を育む生涯学習の充実

<基本事業>生涯学習の充実

【担当課】生涯学習課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|-----------------|-------------------|---|
| 生涯学習のまちづくり事業の推進 | 生涯学習推進体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の生涯学習拠点施設の活用推進 ・社会教育団体の支援、育成 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした各種講座等を実施し、自主グループなどによる利用を促進した。 ・社会教育団体の活動に対して、支援や助言を行った。 |
| | 市民ニーズに対応した学習機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民学級などの各種講座による多様な生涯学習機会の提供 ・学びの成果を生かせる活動機会の充実 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学級（年7回開催、81人参加）、老人大学（年7回×3公民館）等を実施した。 ・公民館講座生による作品展示会など発表の場を設けることで、日頃の成果を市民に披露できた。 |
| 公民館活動の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 地域と連携した公民館活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した各種講座の実施 ・自主グループの育成 ・講座生等の成果発表の場の拡充 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の講師、放課後子供教室の講師に地域の人材を活用し、各種講座を実施した。 ・市内旧町毎の公民館において、自主グループが社会教育の目的を持ち、年間を通して活動した。 ・3月初めに、公民館講座の発表展示会を実施した。 |
| | 幅広い層へ学習機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室等をはじめとする子ども向け講座の実施 ・市民学級、老人大学の開催 ・各公民館における公民館講座の開催 |

| | | |
|-------------------|---------------------------------------|--|
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民学級（年7回開催、81人参加）、老人大学（年7回×3公民館）等を実施した。 ・公民館講座を市内旧町毎に、年間を通して21講座開催した他、数回の短期講座を開催した。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を、金光小学校で7回実施し、延162人の児童・生徒が参加した。 <p>5月から3月の土曜日には、15講座、270人の講座生による公民館での週末の体験教室を開催した。また、8月の夏休み期間中に「夏GAKUサプリーin公民館」として計59講座の体験教室を開催し、延1,548人の小学生が参加した。</p> |
| 図書館活動の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 読書活動の推進、啓発、充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館講座「天文講座」の開催 ・保育園・幼稚園・こども園・小学校での読み聞かせ ・小学校への本の貸出 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、図書館講座や図書館行事を行った。 ・夏GAKUサプリーにおいて、読み聞かせを実施した。 |
| 広報・啓発活動 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、HP、メールサービス等を利用した参加者の募集、各種イベント情報の周知 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・折込チラシへ、公民館講座生の募集を行った。 ・市HPへ公民館講座の実施内容を掲載するとともに、講座生募集期間中は電子申請での申込を受け付けた。 |
| 青少年健全育成の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 子ども育成条例に基づいた、家庭・学校・地域・企業及び行政が連携した教育推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・浅口市地域共同体を形成する学校・家庭・地域・企業及び行政等の連携強化 |
| | | 取組状況 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域・企業及び行政のパイプ役として、青少年育成センターが中心となり、補導活動や啓発活動の取組を行った。 |

| | | |
|---------|-------------------------------------|---|
| | 青少年団体活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・各団体への補助、支援 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成活動協議会による研修会や各種イベント等の支援を行った。 ・子ども会指導者クラブとともに「子どもまつり」を実施した。 ・青年団協議会、ボーイスカウト、子ども会、はるか会、にじの会、風の子による青少年健全育成活動の支援を行った。 |
| | 青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導業務 ・相談業務 ・有害図書回収等による環境浄化 ・街頭啓発キャンペーンの実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任指導員、指導員が中心となり、毎月実施の定例補導に加え、夜間特別補導や列車補導を実施した。 ・広報紙やホームページを活用して、相談業務をPRした。 ・市内3ヶ所に設置している白ポストを活用して、有害図書やDVDの回収を行った。 ・岡山県青少年健全育成強調月間にあわせ、7月と11月にJR鴨方駅、金光駅周辺で啓発活動を実施した。また、3月には寄島地区において、テント村を実施した。 |
| 家庭教育の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 子育てに関する学習機会の提供、相談・支援体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」、「家庭教育支援事業」などによる学習機会の提供 ・各種団体、機関等と連携した「届ける」家庭教育支援への取組 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のふれあいや地域との交流を目的に家庭教育学級として「親力アップ！子育ていきいき塾」を年2回開催した。 ・市内小学校において、就学時の健康診断等の機会を捉えて、参加型学習プログラム「親育ち応援学習プログラム」や講演を実施した。 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 学校、家庭、地域との連携による教育力の充実 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 学校支援地域本部事業をはじめとする、学校、家庭、地域が連携した取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業の継続した取組 ・大人も子どもも育ち合う、地域教育力向上のための体制整備 |
| | | 取組状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、学校支援地域本部を設置し、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアを学校の要請に基づいて派遣した。 ・学校、地域と連携し、「夏GAKUサプリー」を各公民館で実施した。 | |
| 子ども読書活動の推進 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 「子ども読書活動推進計画」に基づく取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ目的で活動している機関・団体との連携によるネットワーク構築 ・ボランティア育成のための研修会、情報交換会の開催 ・活動の場の充実や情報提供 |
| | | 取組状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の読書ボランティア団体に呼びかけて、合同で研修会及び交流会を実施した。 | |
| 発達段階に応じた子どもの読書活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた読書を生活リズムの中で位置付けられるような活動の推進 | 取組状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・健診時に、保護者に対して本を仲立ちにした子どもとのふれあいの重要性を伝え、ブックリストを渡したり学校での読み聞かせを行った。 | |

| | |
|--------|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもまつり」では子ども会指導者クラブと連携し、子どもの日頃の活動成果を発表する場の提供や各種様々なブースを設けることで、近年参加する親子が増加した。 ・青少年健全育成街頭キャンペーンでは、自主的に高校生が参加して実施することができた。 ・市民のニーズに応じた学習機会の提供の場として、「市民学級」（年7回）、「老人大学」（年7回程度×3公民館）等を開講した。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、図書館の連携をより深めながら、それぞれの地域の特性に根差したきめ細かいサービスを提供できるよう努力が必要である。 ・青少年健全育成を目的とした各種団体間で連携を図るとともに、地域全体で家庭教育を行っていく社会構築が必要である。 ・子ども会、ボーイスカウト活動は、新たな指導者の発掘、多くの方の参加を促し、更なる交流を図ることが求められる。読書活動のネットワークについては有効な方法を考えるとともに、各事業とも内外の研修に参加する機会を設けることが必要である。 ・子どもの活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭、行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。 ・夏GAKUサプリーについては、学校・地域との連携をさらに深め、学習プログラムの充実を図ることが望ましい。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学級・老人大学では、日常生活において役立つ内容、受講者が興味を持つような内容を取り入れることにより、参加者が増加した。 ・青少年育成センター業務は、開設から4年が経過した中で概ね軌道に乗ってきたが、より一層の充実した事業展開ときめ細かな取組が必要である。 |

＜基本事業＞生涯学習施設の整備

【担当課】生涯学習課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|--------------|---|---|
| 社会教育施設の整備・充実 | 公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の整備、充実 施設間で情報を共有する等のネットワークの強化 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館のロビー及び大ホールの舞台照明修繕などを実施し、利用者の利便性の向上を図った。 |
| | 金光さつき図書館、鴨方図書館、寄島図書館の貸出・図書館管理システムを活用した相互ネットワークの充実 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の確保 図書館管理システムを活用するための環境整備 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様化する市民からのニーズに適切な対応ができるよう、定期的に図書館職員の打ち合わせ会を開催し、市民サービスの向上に努めた。 |

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 公民館において、修繕・改修により、快適さや安全性の向上を図った。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も各施設を整備し、利用者の利便性と安全性の向上に努めていく必要がある。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館機能は全体的に順調な成果を上げているが、利用者と未利用者が分化する傾向にあり、広報を工夫するなどして利用者の拡充を図り、市民全体を念頭に置いたサービスを実施することが重要である。 |

(参考) 資料3から抜粋

| 貸出図書数／年 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------|----------|----------|----------|
| 鴨方図書館 | 108,312冊 | 106,751冊 | 108,460冊 |
| 金光さつき図書館 | 65,551冊 | 63,785冊 | 63,071冊 |
| 寄島図書館 | 23,333冊 | 24,160冊 | 24,415冊 |
| | 197,196冊 | 194,696冊 | 195,946冊 |

基本方針3 スポーツ活動の振興

<基本事業>スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【担当課】生涯学習課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|--------------|----------------------|--|
| 社会体育施設の整備・充実 | 手軽にスポーツを楽しめる施設の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の修繕や老朽化した備品の更新 ・ニュースポーツ用品の計画的な整備 <p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ用品を購入し、整備・普及に努めた。 ・天草公園体育館の耐震化工事を行い、利用者にとって安全な施設となるよう整備した。 |
| | 利用者間の連絡及び調整による有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会、スポーツ少年団等の各種団体の事業計画に基づく調整 <p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の事業計画に沿って調整を行い、各団体が必要とする体育施設を利用できるようにした。また必要に応じて代替施設を利用できるように調整を行った。 |
| | 予約システムの導入検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内施設の貸出方法等の調整、予約システム導入の検討 ・ホームページ等による市内施設の情報発信 <p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内施設の貸出方法等について協議し、予約システム導入について検討中。 |

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ用品の整備をすすめ、それを放課後子供教室や子どもまつりといった事業で活用し、普及に努めることができた。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も各施設を整備し、利用者の利便性と安全性の向上に努めていく必要がある。 ・引き続きニュースポーツの整備に努め、他事業とも連携して普及の場を広げていく必要がある。 |

自己評価

自己評価 B

・天草公園体育館の耐震改修工事を行った。今後も体育施設の更なる利便性・安全性の向上に努める必要がある。また、スポーツ推進委員が中心となりニュースポーツの普及・推進をしていくことで、スポーツに親しめる環境づくりができるものとする。

(参考) 資料3から抜粋

| 利用者数/年 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------------|----------|----------|----------|
| 天草公園 | 96,664人 | 74,433人 | 52,051人 |
| ふるさとかもがたプラザ | 24,224人 | 26,013人 | 29,549人 |
| 鴨方B&G海洋センター | 10,919人 | 10,154人 | 10,404人 |
| 遙照山総合公園 | 3,357人 | 3,737人 | 4,462人 |
| 金光駅西公園 | 16,163人 | 16,719人 | 15,553人 |
| 金光スポーツ公園 | 23,546人 | 29,351人 | 30,295人 |
| 寄島B&G海洋センター | 16,606人 | 19,123人 | 23,052人 |
| 三ツ山スポーツ公園 | 55,072人 | 56,898人 | 52,908人 |
| 寄島運動場 | 4,659人 | 5,673人 | 7,021人 |
| 寄島東体育館 | 1,641人 | 1,701人 | 7,319人 |
| 寄島武道館 | 4,152人 | 3,912人 | 6,022人 |
| 寄島テニスコート | 2,538人 | 3,436人 | 3,422人 |
| フットサル場 | 16,308人 | 16,682人 | 16,759人 |
| | 275,849人 | 267,832人 | 258,817人 |

＜基本事業＞スポーツ活動の振興

【担当課】生涯学習課

| | | 事業の内容 | 事業概要 |
|---------|---------------------------|--|---|
| 社会体育の振興 | スポーツ振興計画の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の育成 学校体育との連携 各種スポーツ情報の提供 学校体育施設の開放 スポーツ指導者の確保と資質の向上 | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末に各学校・園に対して市内スポーツ少年団の入団希望を募り、75名の入団希望があった。 スポーツ少年団指導者の資質向上を目的に、「スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会」の参加を募った。浅口市も講習会会場の一つであり、多くの市内スポーツ少年団指導者が参加した。 |
| | 各種団体と連携したスポーツ・レクリエーションの普及 | <ul style="list-style-type: none"> 体育協会と連携した、テニス教室やスキー教室等初心者教室の開催 ナイターソフトボール大会やナイターペタンク大会等市民の交流を目的とした大会の実施 全国大会等に出場する選手への激励金の交付 | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会によるバレーボール大会やソフトボール大会等の各種スポーツ大会を実施した。また、市民体育祭、マラソン大会、硬式テニス教室を開催した。 ナイターソフトボール大会等の市民の交流を目的とした大会は、広報紙等を活用し、多くの市民の参加を募った。 |

| | |
|----|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブでは広報活動等を積極的に行い、事業拡大に繋げている。 市民体育祭やマラソン大会、市体育協会による各種スポーツ大会等に多くの市民が参加した。 |
|----|--|

| | |
|--------|--|
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興計画をもとに生涯スポーツの普及・推進に努め、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるよう環境づくりを進めていく。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種大会の参加者数やスポーツ少年団の入団員数をみると、これまでの広報活動には一定の成果が見られるが、少子高齢化の影響により減少していくことが考えられるので一層の広報活動必要だと思われる。 |

基本方針4 文化の薫る地域の振興

<基本事業>文化施設の整備・充実

【担当課】文化振興課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|-------------------|----------------------------------|---|
| かもがた町家公園の円滑な管理・運営 | 歴史公園のもつ特色を活かした公園の管理運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による伝承館や公園周辺の案内 ・団体・個人へのふれあいの館、交流館などの貸館事業 ・かもがた町家管理組合との協働事業 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために、「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行った。 ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高戸家住宅」）、郷土の館、交流館は、地域の歴史を学び文化を継承する場として活用した。 ・水遊び場は、幼稚園を対象に夏季の7月から9月上旬までの期間限定で開設している水深の浅い施設であり、約1,400名の利用があった。 ・かもがた町家管理組合に、伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。 |
| | 来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による食堂事業 ・かもがた町家管理組合による植栽や広場などの施設整備 ・親子のふれあいの場となる水遊び場の開設 ・避難訓練など安心安全事業の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合に、交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。 ・公園が開園して19年を迎えており、屋外施設が老朽化や自然災害等で破損した箇所から随時修繕を実施して、来園者の安全に努めた。 |

| | |
|---------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・不測の事態に備えた文化財火災防衛訓練を実施した。 |
| 地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に町家塾や琴塾の開講 ・七草やひな祭りなどの年中行事にあわせた事業 ・景観や歴史をテーマにした町家公園講座の実施 |
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町家塾として、各節句の民俗行事、麦稈真田組み、神楽の体験、凧作り、粘土細工等を小学生30名と保護者を対象に年10回実施した。今回は初となる神楽の体験事業は、塾生の反響が大きく、大きな成果となった。 ・企画展は、伝承館で節句にあわせて五月人形（内飾り）展、雛人形展を開催し、屋外で鯉のぼり展示、菊花展を実施した。 ・ふれあいの館では、5月の大型連休に明治から昭和にかけての民具を一堂に会した体験型展示「昔の道具展」を開催した。年末年始は、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。 ・体験事業では、5月の大型連休になわなない、煎餅焼き、お駕籠乗り等の「昔体験」を日替わりで実施した。また、年間を通してとんど焼き、投扇興、盆栽教室、折紙教室、町家公園茶会を開催した。 ・江戸時代の町家の魅力を発信するため、チェロ2重奏とソプラノによるスプリングコンサートを開催した。 ・かもがた町家公園講座では、NPO法人鞆まちづくり工房 松居秀子代表理事による講演会「鞆の歴史的遺産を活かしたまちづくり」を開催し、歴史的な町並みなどの原風景保全に係わる取組について、聴講する機会を提供した。 |
| 事業の内容 | 事業概要 |
| 天文台のあるまちとしての特色を活かした博物館の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・天文や宇宙に関する知識を深めるための事業の実施 ・AR技術やWebコンテンツなどを導入した新しい展示物の活用 ・CM番組やオリジナルのプラネタリウム番組による「天文のまち あさくち」のPR ・市民や地元の学生と協働で行う展示物の解説 |

| | |
|--------------------------|---|
| | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙遊泳のゲームや世界の望遠鏡の紹介などが楽しめるタッチパネル式の大型モニターを新しく設置した。 ・合併10周年記念イベント会場に移動式のプラネタリウムを設置し、星空の楽しみ方や惑星の紹介を行うなど、手軽に宇宙を体感できる機会を設けた。 ・夏休みと冬休みに「子どもまつり」と銘うち、工作教室や星に関するビンゴゲームなど、子どもを対象とした科学イベントを行った。 ・友の会や地元の大学生・高校生が、夏の企画展に合わせて国際宇宙ステーションの模型を制作し、また体験コーナーでの補助などを行った。 ・プラネタリウム番組の公開に合わせて、映像作家として人気がある加賀谷氏の講演会と星景写真展を実施した。 ・寄島中学校の協力を得て、金星の観察実習（12月、1月）を行った。 ・プラネタリウムスタンプカードを市内小学生と来館した市外の小学生以下の子どもに配布し、リピーターを増やすことを試みた。また、掲示用の博物館通信を市内小学校・中学校に配布した。 ・3公民館、3図書館及び鴨方駅構内通路の掲示板に、行事予定やイベントポスターを掲示し、広報に努めた。 ・その他各種講座・イベント（観望会、望遠鏡工作、かがく広場、プラネタリウムコンサート等）を開催した。 ・「岡山天文博物館友の会」の定期活動を支援した。 |
| <p>岡山理科大学、京都大学との教育協力</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・天文博物館主催事業への講師派遣 ・中学校での出前授業 ・中学生の大学見学の受入 ・博物館実習の受入 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月と3月の宇宙☆自然講座で、京都大学教授が新望遠鏡をテーマにした講演会を行ったほか、3月には新望遠鏡の見学ツアーも開催された。 ・10月に京都大学教授が来市し、寄島中学校で宇宙をテーマに出前授業を行った。 |

| | | |
|-------------------|-----------------------|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> 岡山理科大学との教育協定に基づき、天文教育普及と人材育成を目標に同大と連携し博物館実習の受入を行った。 |
| | 3. 8m新望遠鏡に関する事業協力 | <ul style="list-style-type: none"> 新望遠鏡関連資材の展示協力 新望遠鏡見学の受入 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併10周年記念イベント会場で、京都大学教授陣及び岡山天体物理観測所所長が、マンツーマンで新旧望遠鏡の解説を行った。 プラネタリウム観覧者を対象に、新望遠鏡見学ツアーを実施し、2,629名参加した。 |
| 阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 郷土先人である阿藤伯海の顕彰 | <ul style="list-style-type: none"> 阿藤伯海に関する展示品の管理 阿藤伯海に関する資料の作成 阿藤伯海記念公園管理組合による展示品や園内の説明 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真パネルを中心とした展示資料を整備し、視覚的に分かりやすい展示説明を行った。 高梁川流域連携事業の一環で、「山田方谷の軌跡(～奇跡～)」資料展示・スタンプラリーに参加し、阿藤伯海と山田方谷の孫である準氏が交わした書簡の展示を行った。 小学生を対象とした論語かるた大会を開催し、子ども達への公園の周知に努めた。 |
| | 文化交流施設として活用される施設の管理運営 | <ul style="list-style-type: none"> 阿藤伯海記念公園管理組合との協働事業 避難訓練など安心安全事業の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 大賀ハスの開花時期に蓮見茶会を開催し、涼やかな雰囲気の中で、お茶と二胡演奏によるもてなしを行った。 梅、蓮の開花をプレス発表。また、公園の魅力を周知する目的で、管理組合と協力し公園の四季折々の花をまとめたパンフレットを作成した。 枯死した松があった場所に新しく松を植樹し、景観の復元を行った。 「文化財防火デー」に合わせて防火訓練を行い、安全に対する認識を深めた。 |

| | |
|---------------|--|
| <p>成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園は、歴史公園の魅力を活かした事業の実施により、平成27年度と比べ入園者数が増加し、高水準を保っている。継続事業と新規事業の実施により、既存の来園者の定着化と新規の来園者の獲得が図られ、歴史公園としての知名度が上昇している。 ・阿藤伯海記念公園で新たに作った花のパンフレットは、四季の花の見頃を紹介し、美しい公園の魅力をわかりやすく伝える資料である。 ・岡山天文博物館の入館者数は、前半は振るわなかったが、近隣にない大型パネル展示の導入と人気映像作家の写真展の開催で持ち直し、ほぼ前年並みの数字を確保できた。 |
| <p>課題・方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園については、鴨方町域での認知度は高く、市外からの認知度が高まりつつあるが、金光町と寄島町においては市内でありながら、まだまだ十分に認知されていない。また、阿藤伯海記念公園については鴨方地域での認知度も低い。市内全域での認知度を高めることが課題である。 ・かもがた町家公園で実施する事業は、競合する他の教育施設と比較し、歴史的な環境の中で伝統文化を体験できるという点で希少性がある。この点を町家公園のブランドイメージとして確立できるよう、今後も継続的に広報宣伝を行う。 ・かもがた町家公園では、指導員の後継者養成が急務である。指導には、暗黙的な知恵が必要となるため、現場での育成の機会を確保する。 ・阿藤伯海記念公園では、管理組合の高齢化と会員減少が進んでおり、若手組合員の加入が喫緊の課題である。 ・岡山天文博物館については、機能強化のために展示の更新や新たな導入を行ってきたが、入館者数が増えていない。もっと情報を発信し、積極的な広報を行う必要がある。 |
| <p>自己評価</p> | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合との連携で特色ある管理運営ができた。また、地域住民が地域の歴史や文化や人々の暮らしに親しむ機会を提供することができた。 ・阿藤伯海記念公園では、茶会やかるた大会、新しいパンフレットの作成など管理組合と連携して、顕彰事業を行うことができた。 ・岡山天文博物館では、予定した新しい展示の導入や講演講座などをほ |

ぼ計画どおり行うことができた。また、学校との連携事業や地元の学生との協働事業も行うことができた。

- ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園では、課題となっている後継者育成や若手組合員増への有効な対策がとれていない。

(参考) 資料3から抜粋

| 入館者数／年 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------|---------|---------|---------|
| 岡山天文博物館 | 11,504人 | 12,718人 | 12,056人 |
| かもがた町家公園 | 35,988人 | 34,570人 | 35,467人 |
| 阿藤伯海記念公園 | 3,227人 | 2,813人 | 2,802人 |

＜基本事業＞歴史・文化的資源の保全・活用

【担当課】文化振興課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|-------------------|----------------------------|---|
| 文化財の保護・保存・公開・普及活動 | 歴史を伝える財産の適切な保全と資料館等での公開、伝承 | <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の調査や保護 ・市民の文化財等に対する理解や知識を深める機会の提供 ・文化財等管理団体の活動支援 ・埋蔵文化財の試掘確認調査等の実施及び遺跡・遺物の保護や記録保存 ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園の管理運営 ・資料館での資料の公開 ・町並み保全 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅口市指定文化財に、「細川通董墓所」を指定した（平成28年4月20日）。 ・市内に所在する文化財の指定等について、教育委員会の諮問に基づき、文化財保護委員会で審議した。 ・浅口市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」C地区に見学道を設置して、環境整備を行った。 ・アッケシソウ自生地生育調査研究事業は、岡山理科大学に委託し、寄島町アッケシソウを守る会と協力して調査や保護活動を展開した。 ・市内の近代建造物の調査を行い、文化財の登録に必要な情報を収集した。 ・文化財公開の基本的な設備である説明板3基や案内標識等3基の整備を行った。 ・個人、法人や地域等が所有及び管理している指定文化財については、適切な指導や助言を行った。市指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存活動事業に対し、補助金の支給や民間助成金を紹介し、事業の継続や活性化を促した。 ・市内遺跡の開発に伴う埋蔵文化財の分布・確認調査を実施するとともに、その取扱いに関して指導助言を行い、 |

| | |
|--|---|
| | <p>埋蔵文化財の適切な保護を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体「浅口歴史探訪会」との協働事業で、中世山城である鴨山城跡の散策道の整備と遺構の表示看板を設置した。 ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅の公開をかもがた町家管理組合に委託し、火曜日から日曜日に開館した。市指定文化財の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開館した。 ・文化財防火デーに伴う防火訓練を浅口市指定文化財の阿藤伯海旧居で笠岡地区消防組合鴨方消防署と浅口市消防団と共に実施した。 ・歴史講座等は、浅口市指定天然記念物アッケシソウ自生地で、アッケシソウの花の観察会を初めて行った。岡山県生涯学習連携講座事業である県西部の文化は、「戦国時代の浅口」をテーマについて講座を行った。 ・資料館等については、日常の維持管理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を実施した。金光歴史民俗資料館では、企画展「書家 浅野五牛」を開催した。 ・麦稈真田生産道具総合調査では、市民の方から多くの関連道具の資料寄贈を受けた。 ・町並み保全では、平成28年度備中町並みゼミ浅口大会を金光町大谷地区で開催した。 |
|--|---|

| | |
|----|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する文化財の指定や指定文化財の現状変更について、教育委員会の諮問に基づき検討し、審議を行った。 ・文化財保存団体が行う事業への補助金を適切に支給し、伝統的民俗行事等の啓発活動を支援した。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」説明看板の修理と立入制限看板1基を設置した。市指定史跡「細川通董墓所」説明看板と案内看板の修理を行った。 ・「アッケシソウ自生地」ではC地区に見学道を新たに設置し、見学者がアッケシソウをより身近に観察することができた。 ・アッケシソウ自生地では、岡山理科大学との生育調査研究事業に自生地の植物相、遊水地の濃度や水質調査の科学的分析が進み、環境整備が進んだ。 |
|----|--|

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財は確認調査3件を実施して、遺跡の基礎情報を収集し、実態把握に努めた。公共工事と民間開発の事前協議は200件あり、平成27年度の84件より増加している。 ・備中町並みゼミでは、近代門前町の金光町大谷地区の町歩きや災害に備えるまちづくりの講演会を実施し、文化財を活かした地域づくりの啓発に努めた。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人所有等の指定文化財は、今後所有者等と連携を密にして、指定文化財の適切な維持管理を進めていく。 ・自然災害発生後に対応できる文化財保護の体制作りが必要である。 ・市内に存在する文化財を後世に継承していくため、文化財指定や登録を継続的に実施していく。また、未指定文化財の調査を行い、情報を収集する必要がある。 ・アクセシソウを守る会と連携して、アクセシソウ自生地の調査保護活動を展開する。 ・文化財保護については、高齢者の文化財に対する関心は高いが、中若年層の関心が低いため、意識の高揚に努める。 ・埋蔵文化財については、工事申請者との開発調整協議を密に行い、基礎構造に遺構への影響がないものを採用してもらうなど、より多くの遺跡が地中にて保存されることに努める。 ・年度途中で大規模な遺跡の発掘調査が必要となった場合、また発掘調査依頼が重複した場合には、現状の職員数及び体制では対応できない。 ・地域の人々が、個性ある文化財保護活動を展開することにより、地域に対する愛着を深め、郷土の歴史遺産を発見し、活用する。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細川通董墓所を新たに1件指定し、市指定文化財は合計38件となった。 ・アクセシソウ自生地では、アクセシソウの開花期の一般公開を通じた啓蒙活動が初めて実施できた。また、適切な維持管理を実施するために、岡山理科大学による科学的な状況把握調査を実施し、現況の把握に努め、今後の適切な管理のあり方を検討するための情報を継続的に収集することができた。 ・文化財の所有者や管理者等と連携を図りながら文化財保護事業を実施した。また、市が所有する文化財の維持管理に努めることができた。 |

- ・ 今後は、出前講座等の学習機会の提供活動に努めるとともに、文化財保護を通じて郷土に対する愛着の精神の育成に努める必要がある。

| 芸術文化活動の普及と振興 | 事業の内容 | 事業概要 |
|--------------|---------------------------|--|
| | 各種団体及び学校との連携による文化・芸術活動の発展 | <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">取組状況</div> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動への参加の奨励 ・自発的、積極的な文化活動の推進 ・国・県が実施する小学校・中学校向け文化芸術体験事業の周知及び取り次ぎ ・浅口市音楽会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校・中学校に対して、文化庁や岡山県主催の芸術文化関連事業の照会を行った。平成28年度は、文化芸術による子どもの育成事業が、六条院小学校と金光竹小学校が採択となり開催された。また、鴨方西小学校において、岡山フィルハーモニック管弦楽団メンバーによるスクールコンサートが開催された。 ・高梁川流域連盟事業として、金光公民館において、フォトコンテストと高校生絵画展を開催した。 ・当市の音楽会として、金光町音楽祭及び天草ふれあい音楽会が自主運営で開催された。 ・総合文化祭（金光、鴨方、寄島会場）及び文化連盟文化祭を開催した。 |

| | |
|----|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が質の高い音楽演奏を鑑賞することができ、音楽を通じて感情や情緒を育むことができた。 ・高梁川流域連盟の事業を通じて、流域間において地域住民が文化的交流を深めることができた。 ・総合文化祭は、今回が初の取組となる子ども対象の芸術文化体験事業を実施し、当事業に約500名の参加があった。これにより、市内の文化団体が育ててきた芸術文化を子ども達へ継承しようとする機運が高まっている。 |
|----|--|

| | |
|--------|---|
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。 ・高梁川流域連盟事業の継続により、流域間における文化的交流を促進する。 ・各団体は自発的な活動を行っているものの、行政に依存する部分も多く、今後より一層の各種団体の自立が求められる。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合文化祭については、市内の芸術文化活動団体による次世代への継承の機運を高めることができた。この機運を維持し、各団体がそれぞれの活動に反映できるようになるまで、同様の事業を継続的に実施する。 ・高梁川流域連盟の流域マップ事業により、流域内での浅口市の存在感を高めることができた。 |

基本方針5 グローバルな感性を育む国際交流・理解

<基本事業> 国際交流の推進

【担当課】文化振興課

| | | |
|--|-----------------|--|
| 都市（中国・高安市）との交流 姉妹都市（豪州・ティーツリーガリー市）、友好提携 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 友好交流による相互理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年海外派遣研修事業の実施 ・豪州青少年受入事業の実施 ・友好訪問団受入事業の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに中学生15名、引率者2名の計17名をオーストラリアに派遣。ティーツリーガリー市役所に表敬訪問したほか、モデブリー高校生宅等にホームステイしながら高校の授業に参加し、また校外活動等を通して高校生との友好を深めた。 ・10月にモデブリー高校生他8名が市を表敬訪問。その後、2日間鴨方中学校の授業に参加し、生徒達と交流を行った。 ・4月に江西省旅游協会副会長他3名が市を表敬訪問し、国立天文台など市内施設を見学した。 |
| 交流を通しての国際理解 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 異文化交流による国際感覚の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会の実現に向けた事業の実施 ・浅口市国際交流協会による定期的な交流講座や国際交流フェスティバルの実施 ・浅口市国際交流協会によるアメリカ大学生等ホームステイ受入事業 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市国際交流協会が実施する外国人との交流事業「英語で国際理解講座（年9回）」や「アメリカ大学生等ホームステイ受入」、「国際交流フェスティバル」を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国の方と会話ができる機会が持てるよう支援を行った。 ・ティーツリーガリー市図書館と協力し、互いの市内の小 |

| | | |
|--|--|---------------------------------------|
| | | 学生・中学生（豪州は高校生まで）同士でポストカードを交換する事業を行った。 |
|--|--|---------------------------------------|

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・友好都市交流については、ティーツリーガリー市に相互交流に参加するモデブリー高校生が減っていることを伝え、日本への関心を高めることや他の学校への呼びかけなどでの協力を依頼し、学校とのパイプを持つ図書館が学校への情報提供で協力してくれることとなった。 ・モデブリー高校生が来市した際の学校交流を2日間に増やしたことで、ゆとりを持って受け入れスケジュールを立てられるようになり、結果として、生徒たちにとっては密度の濃い交流ができた。 ・図書館とのポストカード交換事業は、モデブリー高校生以外との交流となることから、友好交流の輪を一般市民へと広げる機会となった。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・豪州では市が教育行政に携わっていないため、相互交流参加者増（新たな交流校の開拓など）への協力は情報提供の域にとどまる。 ・ティーツリーガリー市図書館と協力して、市民レベルでの交流事業を行っていくことが、相互交流への参加校や参加者を増やすことに繋がることを期待する。 ・市国際交流協会は、会員数が減少傾向にある。国際交流に関心がある若い世代が参加しやすい事業内容、事業運営を考える必要がある。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国からの友好訪問の受け入れや、モデブリー高校生との相互交流事業は例年どおり実施できた。 ・ティーツリーガリー市との友好交流では、モデブリー高校以外との交流を始めることができ、市民交流に向けてのスタートを切ることができた。 |

＜基本事業＞国際的に活躍できる青少年の育成

【担当課】文化振興課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|----------------|-----------|--|
| コミュニケーション能力の向上 | 意思伝達能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生英語スピーチコンテストの開催 ・浅口市国際交流協会による小・中学生を対象とした交流事業の実施 ・青少年海外派遣研修事業の実施 ・豪州青少年受入事業の実施 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に「浅口市長杯中学生スピーチコンテスト」を開催したところ、20組23名の中学生が英語教諭やALTの指導の下、英語力やコミュニケーション力を磨き、コンテスト当日には多くの聴衆を前にジェスチャーを交えながら表現豊かに発表を行った。 ・夏休みに中学生15名、引率者2名の計17名をオーストラリアに派遣。ティーツリーガリー市役所に表敬訪問したほか、モデブリー高校生宅等にホームステイしながら高校の授業に参加し、また校外活動等を通して高校生との友好を深めた。 ・10月にモデブリー高校生他8名が市を表敬訪問。その後、2日間鴨方中学校の授業に参加し、生徒達と多くの交流を行った。 ・10月からALTの協力を得て、小学生・中学生を対象に英会話講座を月1回開催したところ、延60人の参加があった。 |

| | |
|----|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストについて、全学年が意欲的に参加しており、またALTも丁寧かつ熱心に指導を行っている。審査員から年々、英語のスキルが向上していると評価された。 ・モデブリー高校生が来市した際の学校交流を2日間に増やしたことで、ゆとりを持って受け入れスケジュールを立てられるようになり、結果として、生徒たちにとっては密度の濃い交流ができた。 |
|----|---|

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・英会話講座は、子どもだけではなく観覧する保護者も参加する形で行われ、日常の生きた英語を楽しく学べる機会となった。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストについて、暗唱に比べて創作に挑戦する中学生が少なかった。自分の考えを伝える力を養うために、創作にも積極的に挑戦することが望まれる。 ・市国際交流協会主催の小学生・中学生を対象とした交流事業は、準備不足から一部実施できなかった為、小学生・中学生が参加しやすい事業内容等を考える必要がある。 ・ALTによる英会話講座の成果を上げるには、回数を増やす必要があるが、少数ではALTの負担が増えるため、協力に向けた全ALTとの話し合いが必要である。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストは例年どおりの参加と成果を得ることができ、事業として定着している。 ・モデブリー高校と中学生の相互交流は、例年どおり実施できた。 ・市国際交流協会が行う小学生・中学生の交流事業は、準備不足から実施できなかった。 ・新たに始めたALTによる英会話講座は、子ども達の実践的なコミュニケーション能力の向上に繋がる。 |

基本方針6 人権の尊重

＜基本事業＞人権啓発、人権教育の推進 【担当課】生涯学習課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|--------------------|---|--|
| 人権教育の推進 | 人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権が尊重される社会の実現を目指した研修活動等の実施 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進協議会総会を開催し、人権教育に関わる27年度の事業報告並びに28年度の事業計画について審議した。協議会委員の研修活動として、講演会及び視察研修を実施した。 ・ 人権教育指導者養成講座を年7回実施した。 |
| | 学校教育、社会教育と連携した人権教育の総合的な推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・こども園・小学校・中学校におけるPTA人権教育の推進 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立幼稚園・こども園において、市内保育園・幼稚園・こども園の保護者を対象に、ワークショップ形式のPTA人権教育研修会を実施した。人権教育推進協議会委員も参加し、グループの話し合いをサポートした。 ・ 市立小学校・中学校において、講演会形式でのPTA人権教育研修会を実施した。 |
| 人権啓発・教育の指導者リーダーの養成 | 事業の内容 | 事業概要 |
| | 学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、家庭、地域、職場などにおける人権啓発・教育のリーダーの養成 ・ 人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育指導者養成講座を実施した。 |

| | |
|---------------|--|
| <p>成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育指導者養成講座を、子育てと向き合う保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の保護者並びに各種団体及び地域で中心的立場の方々を対象に、開催することができた。 ・障害のある人・子ども・アイヌの人々・性同一性障害のある人等の人権問題について、正しい理解と人権意識の高揚が図れた。 ・幼稚園・こども園においてのPTA人権教育研修会は、子どもの人権についてワークショップ形式での分かりやすい研修となり、幼児虐待防止の意識を高めることができた。 |
| <p>課題・方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成講座について、その時代・時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の修了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営をしたり、全ての市民の人権が尊重される社会の実現のために、内容の工夫をより一層図ったりする必要がある。 ・小学校・中学校のPTA人権教育研修会では、一部を除いて参加率が十分なものではないので、研修内容・日程等工夫が必要である。 ・幼稚園・こども園においてのPTA人権教育研修会の案内を市内保育園・私立こども園にも送っているが、平成28年度も参加がなかった。 |
| <p>自己評価</p> | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の人権教育推進協議会総会での計画に沿って人権教育を推進することができた。 ・それぞれの活動、研修において正しい理解、人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。 |

基本方針7 安心できる子育て支援の推進

＜基本事業＞特別保育事業の充実

【担当課】 こども未来課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|-------------|-----------------------------|---|
| 子育て環境の整備・充実 | 多様な保育需要に応じた保育園における保育サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児を対象とした一時預かり事業の実施 ・日曜・祝日等における「休日保育」の実施 ・園児が病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において保育する「病後児保育事業」の実施 ・保護者の多様化する就労形態に対応した延長保育事業の実施 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立こども園1園、私立保育所3園で、一時預かり事業(一般型)を実施した。 ・公立こども園1園、私立こども園1園で、一時預かり事業(幼稚園型)を実施した。 ・私立保育所1園で休日保育事業を実施した。 ・私立保育所1園で病後児保育事業を実施した。 ・市内全保育所・こども園において、通常保育時間の前後において延長保育事業を実施した。 |

成果

- ・一時預かり事業(一般型)は年間延べ1,492人の利用があった。
- ・一時預かり事業(幼稚園型)は年間延べ3,442人の利用があった。
- ・休日保育事業は年間延べ163人の利用があった。
- ・病後児保育事業は年間延べ24人の利用があった。
- ・延長保育事業は年間延べ4,808人の利用があった。

課題・方向性

- ・職員配置基準等の適切な事業の実施について園に指導するとともに、引き続き広報を行い、事業の推進を図る。

自己評価

自己評価 A

- ・国の事業実施要綱に基づき、職員配置等適正に実施することができた。

(参考) 本文から抜粋

| 利用者／年 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 一時預かり事業(一般型) | 2,127人 | 1,546人 | 1,492人 |
| 一時預かり事業(幼稚園型) | - | - | 3,442人 |
| 休日保育事業 | 26人 | 106人 | 163人 |
| 病後児保育事業 | 27人 | 54人 | 24人 |
| 延長保育事業 | 4,639人 | 3,995人 | 4,808人 |

※一時預かり事業（幼稚園型）は、平成28年度から開始。

＜基本事業＞保育サービスの充実

【担当課】 こども未来課

| | | 事業の内容 | 事業概要 |
|-------------|---------------------------------------|---|---|
| 子育て環境の整備・充実 | 質の高い保育提供体制の確保（浅口市子ども・子育て支援事業計画に基づき実施） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の教育・保育や子育て支援を一体的に実施することが可能な認定こども園への移行（公立） ・ 認定こども園の開園に向けた施設整備等（平成29年度から六条院幼稚園を認定こども園へ移行） | |
| | | 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 六条院幼稚園を認定こども園へ移行するため、必要施設改修を行った。 ・ 在園・入園希望の保護者に対して、概要説明会を実施した。 ・ 浅口はちまん認定こども園の新設に伴う施設整備に対し、安心こども基金を活用した補助金を交付した。 |
| | 子育て支援サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援情報の周知（市ホームページ、メール配信サービスなど） ・ つどいの広場や地域子育て支援センターの利用促進、事業内容の充実 ・ 子育てコンシェルジュの配置 ・ 第3子以降の保育料無償化 | |
| | | 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 病児保育施設の広域利用について、岡山県下 10 市 7 町が、関係市内の 14 施設を相互に利用できるように「岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定」を締結した（平成 29 年 3 月 30 日締結、平成 29 年 4 月 1 日利用開始）。 ・ 子育てコンシェルジュを配置し、子育てに関する相談等を行った。 ・ 第 3 子以降の保育料を無償化し、多子世帯への保育料負担軽減を行った。 |

成果

- ・ 寄島幼稚園と寄島西保育園を統合し、寄島こども園を開園した。
- ・ 六条院幼稚園に3歳児クラスを設置した。
- ・ 金光学園幼稚園が金光学園こども園に移行した。

| | |
|--------|--|
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、浅口市子ども・子育て支援事業計画の中間年度となるため、需給バランスや市民ニーズを勘案し、見直しを進めて行く。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> 浅口市子ども・子育て支援事業計画の計画どおり進められている。 |

＜基本事業＞預かり保育、放課後児童健全育成事業の充実

【担当課】 こども未来課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|-------------|---|--|
| 預かり保育の充実 | 保護者の就労等による降園後の園児に対する生活・遊びの場の提供と健全育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを踏まえた預かり保育の実施形態・支援内容の検討 ・預かり保育幼児クラブの円滑な運営支援 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金光幼稚園・鴨方東幼稚園・六条院幼稚園預かり保育幼児クラブで早朝預かり保育を実施。 ・鴨方東幼稚園及び六条院幼稚園預かり保育幼児クラブで土曜日預かり保育を実施。 ・第3子以降の保護者負担金の無償化（全額補助）を実施。 |
| 放課後児童クラブの充実 | 保護者の就労等による放課後や長期休業日等の児童の安全・安心な居場所の提供と健全育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの施設整備 ・放課後児童クラブの円滑な運営支援 ・放課後子ども総合プランに基づく放課後子供教室との一体型の推進 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会実施 |
| | | <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六条院小学校児童クラブ施設増築工事 ・金光小学校内で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室を7回実施した。 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上を図るための研修会として、備中こどもサポーター育成講座を井笠管内の市町を会場として全7回実施した。 |

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育事業について、保護者の利用ニーズを受けて降園後や長期休業日の預かり保育に加え、早朝や土曜日の預かり保育の実施を行った。 ・六条院幼稚園のこども園への移行に伴い、預かり保育継続事業として、六条院こども園で一時預かり事業（幼稚園型）の実施を決定した。 ・平成27年度に利用児童数が多く狭小であった金光小学校児童クラブの施設を整備したことから、平成28年度から受入児童数の拡充を図ることができた。 ・放課後子ども総合プランに基づき、小学校内で一体型の放課後子供教室を実施することで放課後児童クラブの児童が参加できた。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育事業について、幼稚園園児数の減少や市内の保育施設の充実により、利用園児が減少している。幼稚園の今後の方向性を踏まえ、実施形態、実施内容を検討する必要がある。 ・利用児童数の増加により、放課後児童クラブで育成支援に従事する放課後児童支援員等の職員が不足する状況である。職員の人材確保等必要な方策を検討するとともに、運営費支援の拡充などを検討する必要がある。 ・放課後子供教室との一体型の推進を図るため、放課後児童クラブと放課後子供教室と連携して事業を実施する。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育幼児クラブ及び放課後児童クラブに対し、適正な運営費の支援を行った。 ・放課後児童クラブの施設及び運営に関する最低基準の向上に努めるよう指導を行っていく。 |

＜基本事業＞遊び・交流の場の整備・充実【担当課】こども未来課

| | 事業の内容 | 事業概要 |
|---------------|--|---|
| 遊び・交流の場の整備・充実 | 子育て支援拠点施設の充実 | ・就学前の子どもが安心して遊び、親同士が交流できる既存施設の充実 |
| | | 取組状況 |
| | 子どもを育む体験の場と交流の場の充実 | ・事業実施施設の点検を行うとともに、子どもたちが安心して遊べるよう所管課と連携し、樹木の剪定など維持管理上必要な作業を行った。 |
| | | 取組状況 |
| | ・放課後子供教室等、子どもが様々な活動を経験し、地域の人々と交流できる場の充実 | |
| | ・各公民館における週末の体験活動として地域のボランティアの方々が講師となり、15講座の教室を開催した。 | |
| | ・金光小学校にて一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を7回実施。ボランティアの方や民間企業スタッフを講師に迎え、様々な工作活動や体験活動を実施した。 | |

| | |
|--------|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設の充実については、樹木の選定など維持管理上必要な作業を行った。 ・子どもを育む体験の場と交流の場の充実については、平成28年度から実施回数を2回から7回に増やして実施することで、参加者が増加した（平成27年度：71人→平成28年度162人）。 ・関係各課が連携し、地域で子どもを育む取組ができた。 |
| 課題・方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の子育て支援拠点施設が、より充実するよう取り組む。 ・関係各課がより連携を深め、継続した取組ができるよう努める。 |
| 自己評価 | <p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設の充実については、維持管理に努めた。 ・学校、地域人材と連携した取組ができた。 <p>今後も継続し、より一層充実した取組を進めていきたい。</p> |

IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（平成28年度事業分）

評価委員 金光 英子

1. 目標・組織・会議等

浅口市の将来を明るくものにするためには、都会の大学に進学しても遊学中もしばしば帰り、都会で働いた人々も、育った地域を愛し、ゆくゆくはこの地に住んで文化交流・国際交流・文化の創造を担う人になるような地域社会を支える人材育成が必要となるのではないかと思う。

2. 学校教育課

浅口市学力向上No.1プロジェクト推進委員会の取り組みが、Ⅱ期として校種間連携ができ、成果があがったのはよいことである。体験学習のなかでも職場体験を3中学校に行ったのは、評価できる。できれば、職場体験だけで終わらせず、郷土のすぐれた職業人との交流のなかで、キャリア教育を進めながら、郷土愛をも育て、何年かのちには地域の人材になることをめざせばよいと思う。

特別支援教育は、様々な問題が山積みの中でも教職員の配置や生活支援員の配置など、よい働きができていていると思う。

3. 教育総務課

学校施設整備については、計画的に行われている。

4. 生涯学習課

公民館・博物館・資料館が、生涯学習の場として、様々な活動をしているのは、評価に値する。市民のニーズに応じた各種講座もなされているようだが、老人大学の名称は、改善の余地がある。図書館は限られた条件の下いい活動を行っているが、利用したことのない人に「私の図書館」と思ってもらう工夫が必要である。

5. 文化振興課

かもがた町家公園・岡山天文博物館は、特色を活かした運営がなされていると思う。金光や寄島の歴史民俗資料館でも、活動が各地域、各年齢を対象にしたものに広がり、後継者育成につながることを望む。さまざまな事業が、一部だけにとどまらず、市内全域の方々が参加しやすいよう巡回展示を開催するなどの工夫が考えられる。

市指定の文化財の調査が進み、説明看板などの整備が進んだのはよいことである。これを有効に活かして、人材の育成につなげたいものである。

6. こども未来課

幼児教育・保育は、将来の社会を決定するといわれるほど、重要である。多様な保育需要にこたえて、休日保育・病後児保育・延長保育などが実施されているのは、すばらしい。市民ニーズを的確に把握し、さらなる充実を望む。

7. 総合評価

教育委員会の運営状況は、概ね適切に執行されていると思う。

全体として目標の立て方もよく、取り組み方もよいので、それなりの成果があがっていると思う。成果があるので、さらなる課題や方向性も見極められ、次なる施策の策定が立てやすくなっていると思う。

願わくば、浅口市全体の人材の育成を担う教育委員会として、児童生徒の保護者や若い世代が参加しやすい事業内容や運営を考えてはどうか。

1. 目標・組織・会議等

「郷土あさくちを愛し、心豊かにたくましく、未来を拓く人づくり」の教育目標の下、自立できる人・協働できる人・教養ある人の育成の3本柱のたてかたは的確と思われる。豊かな心と健やかな体をつくり、郷土の伝統・文化を尊重し、激しい時代の流れ・変化の中で創造性に富んだ人材を育てることは教育目標として市民全体としてもともに共有すべきものと思われる。

教育行政基本方針として①豊かな心・広い視野・地域文化を育むまちづくり、②健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまちづくりの二大方針の下、①では基本方針として6点、それぞれの基本事業として計12事業、②では現下重要課題である安心できる子育て支援の推進として4事業を挙げ網羅できている。これらの諸事業の中で浅口市の歴史をふまえた特色ある点を特記していけばよいのではないかと思う。

教育委員が積極的に現場を訪問し実態を把握することは大切であり、現場の声を行政に活かしてほしい。

総合教育会議における市長との意見交換において教育課題・幼児教育・指導体制のあり方を共有することは重要であり教育行政の方向性の継続として大切にしてほしい。

2. 学校教育課

学校教育の充実により健やかな心が育まれる。確かな学力向上のため魅力ある授業づくりにより教員の授業力が向上し、それが子供の学力向上につながる。学力向上No.1プロジェクトで校種間連携を進め、学力向上の土台を確かなものとしたい。県から派遣された授業改革推進リーダー・推進員との連携、家庭・地域との連携により基本的な生活習慣の育成で学力向上を目指してほしい。

心の教育の推進として道徳教育の充実が挙げられているが、授業の内容や評価について子供の様子を大切にして研究を進めてほしい。

教育相談は子どもの健全な育成の場で、大簡塾は特色ある取り組みである。

人権教育については管理職や人権担当者の研修を教職員全体のものにし、地域・保護者との連携について進めてほしい。

特別支援教育については、特別支援学校との連携、支援学校主催の研修会への参加、就学指導連絡協議会の実施、生活支援員と担任との打ち合わせは確実になされるよう希望します。

教職員の適正な配置と人事管理については、風通しのよい職場づくり、人事評価システムの適正な運用—そのことにより組織の活性化に資するよう実施してほしい。

学校マネジメント支援については、学級アシスタント等の活用はあくまでも教職員の負担軽減による子どもと向き合う時間の確保が主であることを中心に置いてほしい。

3. 教育総務課

学校の環境整備は、子どもたちの安全・安心を第一にして未然に事故等を防ぐことが肝

心である。トイレの改修工事は子どもの心の教育にとっても大切なものと思う。緊急避難場所に指定されることもあり、そのための準備も必要かと思われる。

4. 生涯学習課

高齢化社会において心身（身心）ともに健全で豊かな人生を育む生涯学習体制の確立が望まれる。

公民館活動は生涯学習にとっての拠点である。各種講座、市民学級、老人大学は大勢の参加を得ていてすばらしく、講座生による作品展覧会などは各自の意欲を増す力となっている。

学校・家庭・地域との連携による教育力は子どもたちの成長にとってなくてはならない。青少年育成センターを中心とする補導、学校支援地域本部の活動、特に子ども読書活動の推進に図書館を活用することを考えてほしい。

社会教育施設の整備・充実、社会体育施設の整備・充実、社会体育の振興等はしっかり取り組まれている。

5. 文化振興課

旧3町にはそれぞれに特色のある経済的基盤がある。金光一植木、鴨方一そうめん、寄島一漁業などの伝統をもとにした文化の継承を大切に、浅口市として関連付けて発信してほしい。合併した成果を示すものとしても文化遺産と結びつけ、かもがた町家公園・岡山天文博物館を、学習・観光においても旧3町を一体として公報活動をしてほしい。地域住民はもとより全国より当市の歴史や文化・人々の暮らしに親しめる機会としたい。特に民俗資料館の展示はすばらしいものなのでこの動きの中へ取り込めるよう一考してほしい。

G（グローバル）の時代において姉妹都市・友好提携都市との交流を深め、異文化を体験し豊かな感性を有する人材の育成とともに、L（ローカル）が見直される運動も活発となりつつあるので、地元のこれからのあり方についても考えていく方向も大切かと思う。

文化・芸術活動の普及と振興は、総合文化祭を中心に活発である。

6. こども未来課

子育て環境の整備・充実は喫緊の課題だと思う。保護者の就労等によって必要となる休日保育・延長保育をはじめ、早朝預かり保育、土曜日預かり保育も順次実施されている。放課後児童クラブの施設増築がなされ、支援員の資質向上の研修も実施されて浅口市子ども・子育て支援事業計画に基づき進められているとのことだが、こども未来課を中心として他の部署との連携が是非とも必要となると思う。

7. 総合評価

教育目標の三本の柱の下で、教育行政基本方針の体系として、豊かな心、広い視野、地域文化を育むまちの下で6方針、健やかさがはじけ笑顔がひろがるまちの下では安心できる子育て支援の推進とあり網羅的ではあるが、やや違和感があった。各基本方針の下で基本事業がそれぞれの確になされ充分成果が上がっていると思う。

3町合併した新市も10年以上経過している。それぞれの特長を生かして市としての発展を願う。

評価委員 坂本 正恵

1. 目標・組織・会議等

浅口市総合計画の「豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち」「健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち」を目指した教育行政の基本方針が確立されており、その方針に沿った基本事業が具体的に示されているので十分理解できる。

教育委員会の活動状況については、教育委員による会議をはじめ、多種多様な行事に関わり十分な活動ができています。今後も、学校訪問、施設訪問等で現場の状況を把握し、教育文化レベルの向上のための活動をして欲しい。

2. 学校教育課

「健やかな心を育む学校教育の充実」という基本方針のもとに、様々な取組がなされている。確かな学力向上の推進では、「学力向上No.1プロジェクト」Ⅱ期として校種間連携が進められ、目指す子ども像を設定しての取組は評価できる。

学力テスト等の結果が公表されると、とかく点数にのみ注目されやすいが、学力の土台である基本的生活習慣の確立や、教室環境整備などをしっかり整えていくことが必要であると思う。

心の教育の推進では、適応指導教室の運営体制も整備され、学校復帰に向けた取組が行われている。定期教育相談との連携ができれば、より充実した体制ができるのではないかな。

特別支援教育では、各学校に多くの支援員が適切に配置されており、ひとりひとりに応じた支援がなされていることは高く評価できる。学校にとって人的配置は重要である。今後ともより充実させて欲しい。また、就学指導連絡協議会が実施され、就学前の情報を共有した指導・支援が行われている。早い段階での指導・支援は重要であり、今後も推進して欲しい。

3. 教育総務課

子ども達の安全を第一に考えながら、計画的に事業が行われていることは評価できる。学校施設の老朽化も進んでいるが、子ども達が安心して生活できる学校となるように今後も環境整備の充実に取り組んで欲しい。

4. 生涯学習課

「豊かな人生を育む生涯学習の充実」という基本方針のもとに、子どもからおとなまでが活動できる充実した機会が設けられており、学習環境が整っている。地域の人材を活用した学校支援地域本部の設置や、公民館における「夏GAKUサプリ」など、地域と学校が連携した取組は評価できる。今後も推進して欲しい。また、子育てに関する学習として

「親力アップ！子育ていきいき塾」や「親育ち応援学習プログラム」なども評価できる事業である。今後も、家庭教育力の向上に向けて機会を増やして欲しい。

5. 文化振興課

浅口市の特色である「かもがた町家公園・岡山天文博物館・阿藤伯海記念公園」の管理・運営は円滑にできている。それぞれが、日常的な活動とともに、講演会や体験事業等を行い浅口市の文化を継承している。岡山天文台博物館は、全国的にも貴重な存在である。「天文台のあるまち」としての特色を生かし、全国にも発信し続けて欲しい。

文化・芸術活動の振興については、小中学生が、文化芸術体験事業などを通して優れた芸術文化に触れることができた。事業を継続していくことにより、子ども達の感性が高まることを期待する。

また、多くの事業で後継者の養成や、会員の高齢化が課題となっているが、学校や地域と連携しながら継続して取り組む必要がある。

6. こども未来課

安心できる子育て支援の推進事業が幅広くなされており評価できる。特に、一時預かり事業や延長保育事業の利用者が多く、また、病後や休日の事業まであり、保育サービスの充実さがうかがえる。今後も質の高い子育て支援サービスを充実させて欲しい。

7. 総合評価

教育行政の基本方針が適切であり、方針に沿った多岐にわたる取組が十分なされており、成果も上がっている。それぞれの課題については、新しい取り組み方も考えられるが、現在実施していることを継続しながら地道に取り組んでいくことが大切だと思う。そして、浅口市の特色を明確にして教育行政を推進して欲しい。

自己評価については適正であった。

【資料1】 平成28年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）

| 種別 | 学校名 | 区分 | 1年 (0歳児) | 2年 (1歳児) | 3年 (2歳児) | 4年 (3歳児) | 5年 (4歳児) | 6年 (5歳児) | 計 |
|------|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 保育園 | 竜南 | 園児数 | 1 | 7 | 8 | 12 | 4 | 10 | 42 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| | 合計 | 園児数 | 1 | 7 | 8 | 12 | 4 | 10 | 42 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| こども園 | 寄島 | 園児数 | 2 | 10 | 19 | 20 | 29 | 26 | 106 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 |
| | 合計 | 園児数 | 2 | 10 | 19 | 20 | 29 | 26 | 106 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 |
| 幼稚園 | 金光 | 園児数 | *** | *** | *** | *** | 27 | 34 | 61 |
| | | 学級数 | *** | *** | *** | *** | 1 | 2 | 3 |
| | 鴨方東 | 園児数 | *** | *** | *** | *** | 41 | 39 | 80 |
| | | 学級数 | *** | *** | *** | *** | 2 | 2 | 4 |
| | 鴨方西 | 園児数 | *** | *** | *** | *** | 11 | 16 | 27 |
| | | 学級数 | *** | *** | *** | *** | 1 | 1 | 2 |
| | 六条院 | 園児数 | *** | *** | *** | 27 | 26 | 37 | 90 |
| | | 学級数 | *** | *** | *** | 2 | 1 | 2 | 5 |
| 合計 | 園児数 | *** | *** | *** | 27 | 105 | 126 | 258 | |
| | 学級数 | *** | *** | *** | 2 | 5 | 7 | 14 | |
| 小学校 | 金光竹 | 児童数 | 7 | 10 | 7 | 8 | 8 | 13 | 53 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| | 金光 | 児童数 | 63 | 54 | 52 | 63 | 62 | 63 | 357 |
| | | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| | 金光吉備 | 児童数 | 34 | 39 | 23 | 31 | 30 | 45 | 202 |
| | | 学級数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| | 鴨方東 | 児童数 | 47 | 52 | 69 | 59 | 67 | 58 | 352 |
| | | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| | 鴨方西 | 児童数 | 33 | 25 | 22 | 28 | 24 | 38 | 170 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| | 六条院 | 児童数 | 59 | 56 | 63 | 66 | 65 | 61 | 370 |
| | | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| | 寄島 | 児童数 | 30 | 35 | 30 | 30 | 29 | 42 | 196 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 7 |
| 合計 | 児童数 | 273 | 271 | 266 | 285 | 285 | 320 | 1,700 | |
| | 学級数 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 12 | 63 | |
| 中学校 | 金光 | 生徒数 | 87 | 81 | 92 | *** | *** | *** | 260 |
| | | 学級数 | 3 | 2 | 3 | *** | *** | *** | 8 |
| | 鴨方 | 生徒数 | 151 | 140 | 139 | *** | *** | *** | 430 |
| | | 学級数 | 5 | 4 | 4 | *** | *** | *** | 13 |
| | 寄島 | 生徒数 | 32 | 34 | 39 | *** | *** | *** | 105 |
| | | 学級数 | 1 | 1 | 1 | *** | *** | *** | 3 |
| | 合計 | 生徒数 | 270 | 255 | 270 | *** | *** | *** | 795 |
| | | 学級数 | 9 | 7 | 8 | *** | *** | *** | 24 |

【資料 2】 平成 28 年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校及び教職員の研修一覧

1 市研究指定校について

| | 指定期間 | 研究指定事業名 | 教科・領域 | 指定校名 | 指定区分 | 発表会等期日 |
|---|-----------------|---------------|-------|---------------|-------------|-------------|
| 1 | 平成 27 ～28 年度 | 魅力ある授業づくり徹底事業 | 授業改善 | 金光吉備小 鴨方西小 | 県教委 | |
| 2 | 平成 28 ～29 年度 | 小教研浅口支会指定 | 算数科 | 六条院小 | 小教研 浅口支会 | |
| 3 | 平成 27 ～28 年度 | 中教研浅口支会指定 | | 金光中 | 中教研 浅口支会 | H28. 11. 25 |

2 公開（研修）講座会場校

| | 指定期間 | 研究指定事業名 | 教科・領域 | 指定校名 | 指定区分 | 公開期日 |
|---|----------|--------------------|-------|------------|---------------|-------------|
| 1 | 平成 28 年度 | アクティブラーニング 研修講座 | 授業改善 | 金光中 | 県総合教 育センター | H28. 11. 25 |
| 2 | 平成 28 年度 | 新規採用養護教諭研修 講座 | | 金光小 鴨方中 | 県総合教 育センター | H28. 10. 26 |

3 教職員研修

| | 研修名 | 対象校 | 対象者 | 希望・悉皆別 | 開催日 | 日数 | 備考 |
|---|-----------------------------|--------------------------|---------------|--------|---------------------------|----|---------------------------|
| 1 | 平成 28 年度浅 口市教職員全 員研修会 | 幼稚園・こども 園・小学校・中 学校 | 教職員全員 | 悉皆 | H28. 8. 9 | 1 | 市 |
| 2 | 若手教員ハワー アップ研修講座 | 小学校・中学校 | 若手教職員 等 | 希望者 | H28. 8. 2 | 1 | 市・井原市・里 庄町・矢掛町・ 早島町 |
| 3 | 園小接続研修 会 | 保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校 | 教職員・保 育士全員 | 希望者 | H28. 6. 16 H29. 1. 6 | 2 | 市(70名参加) 市(150名参加) |
| 4 | 接続カリキュ ラム編成委員 会 | 保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校 | 各校園の代 表者 | — | H28. 8. 17 H28. 11. 22 | 2 | 市(各 23 名参 加) |

【資料3】 平成28年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

◇平成28年4月1日～平成29年3月31日

| 所管課・室 | 施設名 | 利用者数 | 備考 |
|-----------|--------------------|-----------|---------------|
| 生涯学習課 | 中央公民館 | 37,802 人 | |
| | 鴨方図書館 | 108,460 冊 | 蔵書数 136,921 冊 |
| | 天草公園 | 52,051 人 | |
| | プラザ | 29,549 人 | |
| | B&G海洋センター | 10,404 人 | |
| 文化振興課 | 岡山天文博物館 | 12,056 人 | |
| | かもがた町家公園 | 35,467 人 | 伝承館:1,914 人 |
| | 阿藤伯海記念公園 | 2,802 人 | |
| | 鴨方郷土資料館 | | データなし |
| 金光分室 | 金光公民館 金光歴史民俗資料館 | 35,508 人 | |
| | 金光さつき図書館 | 63,071 冊 | 蔵書数 49,555 冊 |
| | 遙照山総合公園 | 4,462 人 | |
| | 金光駅西公園 | 15,553 人 | |
| | 金光スポーツ公園 | 30,295 人 | |
| 寄島分室 | 寄島公民館 | 7,701 人 | |
| | 寄島図書館 | 24,415 冊 | 蔵書数 20,916 冊 |
| | ふれあい交流館サンパレア | 32,944 人 | |
| | B&G海洋センター | 23,052 人 | |
| | 寄島郷土資料館 | 人 | データなし |
| | 三ツ山スポーツ公園 | 52,908 人 | |
| | 寄島コミュニティーセンター | 2,420 人 | |
| | 寄島運動場 | 7,021 人 | |
| | 寄島東体育館 | 7,319 人 | |
| | 寄島武道館 | 6,022 人 | |
| | 寄島テニスコート | 3,422 人 | |
| | フットサル場 | 16,759 人 | |
| | 寄島東公民館 | 7,660 人 | |
| 寄島東部グラウンド | 人 | データなし | |

【資料4】 平成28年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【生涯学習課及び分室】

| 事業名 | | 期間回数 | 対象 | 事業内容 | 開催日・実績・内容・評価 |
|----------|-----------------------------|------------|------------|--------------------------------------|--|
| 生涯学習推進事業 | 漢字検定 | 年3回 | 市民一般 | 日本漢字能力検定協会準会場 | 6/4 40人 10/29 32人 1/28 26人 金光公民館にて実施 |
| | 市民学級 | 年7回 | 市民一般 | 料理・工芸・移動学習等 | 81人参加申込 5月「開講式・笑って若返り！！」 7月「ちぎり絵（あさがお）」 9月「名曲の世界へようこそ」 10月「視察研修 備前焼体験に行こう」 12月「中華料理」 2月「手作り豆腐」 2月「笑い文字で感謝の気持ちを伝えよう」 ・閉講式 |
| | 老人大学（金光、寄島地区） 天草学級（鴨方地区） | 年7回程度×3公民館 | 概ね65歳以上の市民 | 趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど | 金光31人、鴨方76人、寄島76人 各館7回程度のバラエティに富んだ講座を開催 |
| 家庭教育関係事業 | 家庭教育支援事業「親力アップ！子育ていきいき塾」 | 7小学校 | 保護者教職員 | 子育てやしつけなど家庭教育の在り方を見つめ直す研修会 | 学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内7小学校にて実施 |
| | 家庭教育学級 | 年2回 | 幼・小とその保護者 | 親子ふれあい事業 | 8/19 ウミホテルを見に行こう 3/19 スポーツ吹矢体験 |
| 青少年育成事業 | 成人式 | 1月8日 | 新成人 | 式典 実行委員会による立食パーティー | 1/8 ふれあい交流館サンパレア 対象者362人 出席者数276人 |
| | 青少年育成活動協議会研修会 | 3月25日 | 協議会委員 | 親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修 | 健康福祉センター多目的ホールにて開催 ・ウィークエンド・わくどき琴塾の発表 ・明るい家庭づくり優秀作文の発表 ・講演「メディア（画面越し）の環境が脅かす、こどもの「体験」の時間」 講師 筒井愛知 先生 |

| | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|------------------|--------------------|--|--|
| 子ども週末体験活動 (放課後子供教室 推進事業) | 年間週末 3公民館 | 幼小中 | 体験活動 | ウィークエンドわくどき体験 中央公民館7講座139人参加 金光さつきっ子教室 金光公民館5講座89人参加 三つ山っ子教室 寄島公民館3講座42人参加 ※国県補助 220千円 | |
| 夏GAKUサプリ in 公民館 | 8月 3公民館 | 小中 | 学習講座 | 中央公民館 5日間37教室のべ857人参加 金光公民館 4日間17教室のべ606人参加 寄島公民館 4日間5教室のべ85人参加 | |
| みんな集まれ あさくちっ子わく どき体験 | 期間限定 | 幼小中 | 自然体験・体験活動 | 夏休み期間中(金光分4講座)和紙で絵を描 こう・かえってくる?ブーメラン!・夏の 図書館こどもまつり・ぬいぐるみのおとま りかい 冬休み期間中(金光分2講座)親子で年越し そば打ち・たのしいクリスマス会 | |
| 少年少女合唱団ひ まわり | 年間 | 市内小学 生 | 月2回 | 団員12名 毎月第1・3日曜日 10:00~11:30 浅口音楽フェスティバルをはじめ、年間3 回程度発表会に出演 第11回ひまわりコンサートも開催した | |
| 浅口市青少年育成 指導員連絡協議会 | 年間 | 指導員 | 定例補導・特別補導・ 列車補導 | 定例補導:月3回 特別補導:年5回 列車補導:年6回 | |
| 人権教育推進事業 | 人権教育指導者養 成講座 | 年7回 | 受講 申込者 | 講義・視察研修 | 83人 6月開講式、12月閉講式 月1回のペースで人権問題の正しい知識と 理解等について学習した 10月視察研修(岡山市 岡山少年院) |
| | P T A人権教育研 修会 | 小・中学 校 各1回 | PTA会員 | 講演会 | 市内7小学校、3中学校においてP T A対象 に実施(児童・生徒参加の学校もあった) |
| | 幼稚園・こども園 P T A人権教育研 修会 | 各園 | PTA会員 | ワークショップ | 各園90%以上の出席 10月六幼、11月鴨東幼・鴨西幼、1月金幼・ 寄こ(人権教育推進協議会委員のサポータ ーと共に小グループで学習した) |

| | | | | | |
|-----------|--------------------|-------------|------------|-------------------------|---|
| 学社連携 | 学校支援地域本部事業 | 年間 | 市内幼・小・中 | 学校からの要請に応じて支援者の派遣 | 各学校からの要請に応じて支援者を派遣 |
| スポーツ振興事業 | 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 | 通年 | 市民一般 | | NPO法人あさくちスポーツクラブの活動を支援 入会の受付事務及び各教室の参加受付窓口等 |
| | スポーツ少年団育成支援事業 | 通年 | スポーツ少年団 | 4月入団式 12月スポーツテスト交流大会 | 入団式及び、スポーツテスト交流大会を通じて団員及び指導者相互の親睦を図る |
| | 市民体育祭 | 5・9・10月 | 市民一般 | 旧町毎に実施 | 金光大会 約1,600人 鴨方大会 約2,000人 寄島大会 約 800人 |
| | 浅口市マラソン大会 | 12月1回 | 市民一般 | | 参加者数1,060人 |
| | ナイターソフトボール大会 | 5・6月 | 市民一般 | | 11チーム約160人参加 |
| | リレーソフトボール大会 | 7月3日 | 市民一般 | | 参加チームのリレーにより長時間の試合を行う |
| | 体力テスト交歓大会 | 1月1回 | スポ少団員 | | 95人 |
| | アクアビクス教室(寄島) | 6月～10回 | 大人 | アクアビクス | 14人 |
| | ナイターペタンク大会 | 7月2日 | 市民一般 | ペタンク | 40チーム 81人 |
| | 海洋クラブ | 4～9、2月隔週土曜日 | 児童・生徒 | カヌー・ヨット等の海洋性レクリエーション | 12人 7月県大会出場 |
| | フットサル大会 | 5月11月 | 大人・親子 | フットサルの勝抜き大会 | 第18回 20チーム208人 第19回 19チーム200人 |
| | フットサルリーグ | 5月～8月 | 大人 | フットサルのリーグ戦 | 2部リーグ(初心者及び男女混成) 第9回 7チーム103人 |
| | アクアビクス教室(鴨方) | 6月～8月12回 | 大人 | アクアビクス | 参加者28人 |
| | 幼児水泳教室 | 6・7月5回 | 5・6歳児 | 5・6歳児対象の水泳教室 | 参加者17人 |
| 児童水泳教室 | 6・7月5回 | 児童 | 水泳が苦手な子向け | 参加者72人 | |
| 水泳指導者養成教室 | 6月1回 | 大人 | 児童水泳教室講師育成 | 参加者 7人 | |

【公民館講座】

| 事業名 | | 期間・回数 | 対象 | 開催日・実績・内容 |
|----------|---------------------|--------------------|----------------------|---|
| 浅口市中央公民館 | ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字 | 第2・4土曜日 | 市内 在住 在勤 在学 | 受講生15人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ |
| | 楽しい手編み | 第2・4火曜日 | | 受講生20人 初心者のための編み物講座 |
| | 楽しい中国語 | 毎週日曜日 | | 受講生14人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ |
| | 楽しい陶芸 | 第1火曜日 | | 受講生8人 土の手触りを楽しみながら器などを作る |
| | 基礎から学べる詩吟 | 第1・3火曜日 | | 受講生15人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する |
| | やさしい水墨画 | 第1・3金曜日 | | 受講生13人 構図の基本や墨の濃淡など基本技術から作品製作までを学ぶ |
| | やさしい書道 | 第2・4日曜日 | | 受講生6人 かい書、行書の基本を学習し、書に親しむ心を大切に、書く喜びを楽しむ |
| | 楽しい韓国語 | 毎週木曜日 | | 受講生12人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ |
| | 手打ちそば入門 | 第2・4日曜日 | | 受講生11人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ |
| 金光公民館 | 庭木の手入れ入門 | 第4土曜日 | 市内 在住 在勤 在学 | 受講生17人 剪定の仕方、農薬の使い方を学び丸山公園などでの実施講習 |
| | 絵手紙入門 | 第4木曜日 | | 受講生11人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり |
| | 英会話入門 | 第2・第4火曜日 | | 受講生14人 初歩からの英会話を学ぶ |
| | 男の料理入門 | 第2日曜日 | | 受講生19人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物の料理までを学ぶ |
| | 木工入門 | 第2・4金曜日 第2・4土曜日 | | 受講生7人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ |
| | お菓子作り入門 | 第4土曜日 | | 受講生11人 ちょっとした工夫でカロリー控えめのお菓子づくり |
| | 簡単ランチとスイーツ入門 | 第4日曜日 | | 受講生21人 簡単なランチとスイーツの作り方を学ぶ |
| | アロマのある暮らし | 第2土曜日 | | 受講生14人 アロマを生活の中に取り入れて活用する方法を楽しみながら学ぶ |
| | 春のお花見ウォーキング | 4月5日 | | 受講生25人 |

| | | | | |
|-----------|--------------|-----------|----------------------|---------|
| 金光公民館短期講座 | ビーズネックレスを作ろう | 7月30日 | 市内 在住 在勤 在学 | 受講生 15人 |
| | 自分で浴衣を着てみよう | 7月29日 | | 受講生 7人 |
| | 秋の里山ウォーキング | 10月26日 | | 受講生 18人 |
| | 干支の木目込み人形講座 | 12月21・22日 | | 受講生 5人 |
| | 年末恒例！年越しそば打ち | 12月28日 | | 受講生 16人 |
| | 春の苔玉を作ろう | 3月14日 | | 受講生 31人 |
| | ガーデニング | 第3金曜日 | | 受講生 19人 |
| 寄島公民館 | ヨガ | 第2水曜日 | 市内 在住 在勤 在学 | 受講生 20人 |
| | 手話 | 第2・4木曜日 | | 受講生 14人 |
| | 和太鼓 | 第2・4水曜日 | | 受講生 6人 |

【文化振興課及び分室】

| 事業名 | | 期間回数 | 対象 | 事業内容 | 開催日・実績・内容 |
|-----------|--------------------|--------|-------------|-----------------------------------|--|
| 文化・芸術関係事業 | 古文書同好会 | 年10回 | 市民一般 | 近世、近代の興味ある史料にふれる | 第2日曜日13:30～ 受講者数13人 |
| | 文化財講座 | 年1回 | 市民一般 | 浅口市指定天然記念物アッケシソウ自生地でのアッケシソウの花の観察会 | 9/10 「緑のアッケシソウを楽しむ会」 受講者数40人 |
| | 浅口ふるさと再発見 | 年1回 | 市内小学生と保護者 | 鴨山の文化遺産を巡る体験講座 | 3/26 参加者数9人 |
| | 総合文化祭 | 年1回 | 一般 | 市民による芸術文化の発表 | 10/22、23（寄島は10/29、30） 金光会場 展示発表・芸能発表 約1,000人来場 鴨方会場 展示発表・芸能発表 約3,500人来場 寄島会場 展示発表・芸能発表 約1,600人来場 |
| | 金光遙照太鼓教室 | 年間 | 市内小・中学生 | 郷土の文化伝承 | 5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。第15回金光キッズフェスティバルへ出演 受講者数23人 |
| | 金光キッズフェスティバル | 年1回 | 金光地区園児小・中学生 | 学校・公民館・地域での学習成果の発表 | 12/18 金光公民館大ホール・各部屋で舞台の部14団体、展示の部21団体が出演・展示し、6つの体験コーナーなど多くの来館者（約1,000人）があった。 |
| 国際交流事業 | 青少年海外派遣事業（オーストラリア） | 年1回 | 市内中学2・3年生 | 友好提携都市への青少年の派遣 | 7/31～8/9 中学生15人 引率2人を派遣。ティーツリーガリー市ほか |
| | 海外青少年受入事業（オーストラリア） | 年1回 | 市内青少年 | 友好提携都市の青少年の受入 | 豪州10/5～10/10 教師2人、生徒5人、大学生1人 市内見学、鴨方中学校交流訪問、ホームステイなど |
| | 中国友好交流 | 江西省年1回 | 一般 | 光大旅行社訪問団の受入 | 4/15 光大旅行社社長他2人が表敬訪問。市内施設見学など |

| | | | | | |
|---------|-------------------------------------|---------------------|-------------------|--|--|
| | ペンフレンド事業 (豪州 TTG市) | 年2回 | 市内在住 小中学生 | ポストカードを使った 文通 | TTG市図書館の日本講座の受講生とポストカードを使って交流する。 参加者16人 |
| | 英会話講座 | 月1回 | 市内在住 小中学生 | 初めての人を対象とした英会話講座 | 10/13～第2木曜日 参加者10人 |
| | 中学生英語スピーチコンテスト | 年1回 | 市内在住 学中学生 | 中学生の英語スピーチコンテスト | 11/10 創作の部 8組8人、 暗唱の部 12組15人 計20組23人が出場 |
| 天文博物館事業 | 宇宙☆自然講座 | 年2回 | 一般 | 天文及び自然科学分野に関する一般講座 | 4/23「京都大学3.8m望遠鏡が探る宇宙」 参加者 80人 3/19「2つの大望遠鏡がひらく最新の天文学」 参加者 100人 |
| | ちびっこ ぷらねたりうむ | 毎月2回 水曜日と 土曜日 | 子どもと保護者 | こども向けプラネタリウム投映とお話会。投映中も出入り自由 | 毎月水曜日と土曜日に各1回、 計21回開催。のべ180人が参加 |
| | かがく広場 | 年6回 | 小学生 | 身近なものを使った実験や工作を通して科学の不思議を学ぶ。 | 5/22「バランスとんぼを作ろう」 6/26「火打石で遊ぼう」 10/16「ちりめんモンスター」 11/27「色が変わる不思議な水溶液」 1/29「石蒸し料理を体験しよう」 2/26「ミンミンゼミを作ろう」 のべ120人 |
| | 望遠鏡を作ろう！ | 年3回 | 一般 | 望遠鏡キットを使って望遠鏡作り | 7/31、8/27、11/19 計40人 |
| | 七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」 | 年1回 | | メッセージを預かって星のパワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。 | 6/25～8/27 計30人 |
| | 3.8m新望遠鏡見学ツアー | 年間 | 入館者（主にプラネタリウム観覧者） | プラネタリウム観覧後、希望者を対象に仮設テント内の望遠鏡を見学するツアーを実施。 | 4月～3月 回数318回、人数のべ2,596人 |

| | | | | |
|---------------------------|------------|-----|---|---|
| 天文のまち あさくち PR事業 | 12月～ | 一般 | 大型モニター展示の導入 | 65インチ4枚分の大型モニター展示を導入。宇宙での記念撮影や星座作りを楽しむことができるほか、世界の天文台を紹介する。 |
| | 年間 | 一般 | スマホやタブレットを使って楽しむ展示の導入。 | バーチャルで3.8m新望遠鏡と天文台の操作を楽しめる展示。 既存展示の説明をWebコンテンツで見られる展示 |
| | 年間 | 一般 | タッチパネル式で天文クイズや宇宙旅行を体験 | 初級から上級までコースを選んでクイズに挑戦 惑星めぐりや宇宙の果てまで、好きな宇宙旅行が楽しめる |
| | 年間 | 一般 | 定点カメラを通して3.8m新望遠鏡を観察 | ツアーに参加できない来館者がモニターを通じてドーム内の様子を見ることができる |
| | 年間 | 一般 | オリジナルプラネタリウム番組の上映 | 50年前の天文台設置から天文台のまちの歴史を辿る番組を毎回上映。 |
| | 年4回 | 一般 | 望遠鏡の使い方の説明 季節の星座の観望 | 8/6「夏の観望会」 8/8「ペルセウス座流星群観望会」 12/10「冬の観望会」 計のべ126人 |
| 子どもまつり | 年2回 夏と冬 | 一般 | 家族や子ども向けの工作教室やイベントを実施 | 8/21 222名 1/7～1/9 401名 |
| 学校連携事業 | 年2回 | 中学生 | 寄島中学校と連携し、金星の観察実習を実施 | 12/3、1/15 8名 |
| 国立天文台岡山天体物理観測所 特別夜間観望会 | 年1回 夏のみ | 一般 | 博物館が共催 プラネタリウム室で天体・星座紹介及び15cm屈折望遠鏡にて観望 | 7/30 計80人 |
| プラネタリウムコンサート | 随時 | 一般 | 星空解説と生演奏 | 7/2、1/21 計80人 |
| クリスマス☆プラネタリウム | 年1回 | 一般 | プラネタリウム室でクリスマスにまつわる星のお話 | 12/24、25 計93人 |
| 展示企画展 | 年1回 | 一般 | 企画展「あさくちから宇宙へ～キミは12番目の宇宙飛行士～」 | 7/16～9/4 4,000人（来館者） |

| | | | | | |
|------------|------------|-----|--------------|--------------------------|---|
| | 講演会 | 年2回 | 一般 | 夏と冬の企画展で実施 | 7/24「宇宙服のヒミツ」 56人 1/7「世界の星空を求めて」 60人 |
| | 天文博物館友の会活動 | 随時 | 一般 | | 例会：毎月第2土曜日 施設見学会、観望会等積極的な活動を続けている |
| かもがた町家公園事業 | 町家塾 | 年間 | 市内小学1～6年生 | 郷土の文化伝承 | 6/4 端午の節句（柏餅づくり、映画会） 126人 7/2 真田組み・昔話 60人 8/27 七夕会（短冊書き、素麺流し、映画会） 121人 9/10 ムクロジとハスの葉の不思議・昔話 59人 10/15 火起こしと勾玉作り 48人 11/12 神楽にふれよう・昔話 74人 12/10 凧作り・凧あげ体験・昔話 47人 1/21 七草がゆを食べよう 100人 2/18 粘土細工・昔話 45人 3/25 雛祭り（よもぎ団子作り）45人 |
| | 町家公園茶会 | 年3回 | 一般 | かもがた町家管理組合文化部による茶会 | 7/3 273人 9/17 観月茶会 268人 3/5 299人 |
| | 昔の道具展 | 年1回 | 一般 | 昔の道具を展示 | 5/3～5/5 270人 |
| | 昔体験 | 年1回 | 市民一般 | 子どもたちを対象とした昔体験 | 5/3 せんべい作り・なわなひ・おかご乗り体験・ねこ車体験 190人 5/4 きな粉作り・火起こし体験と竹筒炊飯 101人 5/5 せんべい作り 150人 5/3～5/5 昔の道具展&道具当てクイズ 270人 琴の演奏体験 43人 |
| | まちや映画会 | 年3回 | 幼児、小学生とその保護者 | 幼児、小学生とその保護者を対象とした昔話の映画会 | 6/15 8人 7/27 33人 8/17 32人 |
| | まちや寄席 | 年2回 | 児童、一般 | 岡山大学落語研究会等による寄席 | 7/16 児童対象 119人 2/12 一般対象 99人 |

| | | | | | |
|----------|------------------|------|-------|-----------------------------|--|
| | 折紙教室 | 年2回 | 児童、一般 | 児童と大人を対象にした折紙教室 | 8/21 海の生き物をテーマ 児童28人 11/3 大人向けの伝承折紙 一般36人 |
| | 盆栽教室 | 年1回 | 一般 | 植木の専門家が指導する盆栽教室 | 11/20 13人 |
| | 投扇興体験 | 年1回 | 市民一般 | 江戸時代の遊びである投扇興の体験講座 | 11/23 51人 |
| | 季節の行事企画展 | 年1回 | 一般 | 節句等の伝統的年中行事の企画展示 | 4～5月 五月人形展示 年末年始 門松・正月飾り 2～3月 雛人形展示 |
| | 菊の展示会 | 年1回 | 一般 | 旧暦の重陽の節句に合わせた菊の展示 | 10/27～11/10 |
| | とんど焼き | 年1回 | 市民一般 | 伝統行事であるとんど焼き | 1/14 160人 |
| | 町家公園講座 | 年1回 | 一般 | 鞆の浦でまちづくり活動に取り組む団体による講演会 | 2/19 60人 |
| | 町家スプリングコンサート | 年1回 | 一般 | 町家で聴くクラシックコンサート | 2/26 120人 |
| | 町家でむかしむかし | 年1回 | 市民一般 | 地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する | 3/26 25人 |
| 阿藤伯海公園事業 | 所蔵作品展 | 年間 | 一般 | 阿藤伯海先生等の資料展示 | 阿藤伯海先生に関する資料の常設展示 |
| | 阿藤公園茶会 | 年1回 | 一般 | 大賀蓮の開花にあわせた茶会 | 7/31 蓮見茶会 172人 |
| | 論語かるた大会 | 年1回 | 小学生 | 小学生対象のかるた大会 | 1/28 21人 |
| 資料館事業 | 鴨方郷土資料館 | 年間 | 一般 | 郷土資料の常設展示 | 郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示 |
| | 金光歴史民俗資料館企画展・特別展 | 年各1回 | 一般 | 郷土資料の特別展示 | 10/22～12/25 書家 浅野五牛展（前期） 1/4～ 1/31 書家 浅野五牛展（後期） 1/21 講演会「五牛先生の思い出」 |

【資料5】 平成28年度 子ども・子育て支援事業の実績

| 事業名 | | 期間回数 | 対象 | 事業内容等 | 開催日・実績・内容 |
|---------------|-------------------|-------|--|---|--|
| 地域における子育て支援事業 | つどいの広場 「のびっこ」 | 週4日 | 乳幼児とその保護者 | 鴨方公民館において遊びと交流の場を開設し、子育て相談、情報提供等を行う。 ・身体計測 毎月第1月曜日 ・絵本と紙芝居の日 毎月第1・第3木曜日 ・リミックの日 毎月第2・第4金曜日 ・パパと遊ぼうDay 毎月第3土曜日 | 7/14、3/18 救急救命講習 7/15、3/17 親育ちプログラム 7/30、10/29、1/28 エプロンシアター等 8/29、11/5 カプラで遊ぼう 9/2、2/17 食育講座 9/29、3/10 ベビーサイン 10/7、21 ベビーマッサージ 11/10 わらべうた 2ヶ月に1回 うたあそび |
| | 子育て支援のネットワークづくり事業 | | | | ひよこ会 |
| | つくし会 | 月1回程度 | 鴨方町・寄島町在住 就園前乳幼児と保護者 ・乳幼児・保護者の交流を行う。 ・運動会、バス遠足、クリスマス会等 | 会員数 保護者 25人 子ども 32人 年12回開催 総会、運動会ごっこ、バス遠足、クリスマス会、音楽遊び等 | |
| | ひよこ会 | | 金光町在住 就園前乳幼児と保護者 | | |